# ご使用のしおり

《取扱説明書》

JANOME

# 安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in Japan only.

## 危害・損害の程度を表わす表示

| | |
|---|---|
|  **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 | ⚠ **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |

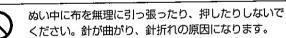
## 本文中の図記号の意味

| | |
|---|---|
|  | △記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。<br>図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意) |
|  | ⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。<br>図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止) |
|  | ●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。<br>図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制) |

## ⚠ 警告　感電・火災の恐れがあります。

| | | | |
|---|---|---|---|
|  必ず実行 | 一般家庭用、交流電源 100 Vでご使用ください。 |  必ずプラグを抜く | 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。<br>・ミシンのそばを離れるとき<br>・ミシンを使用したあと<br>・ミシン使用中に停電したとき |

## ⚠ 注意　感電・火災・けがの原因となります。

| | |
|---|---|
|  分解禁止 | お客様自身での分解はしないでください。 |
|  接触禁止 | ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・ルーパー・メス・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 |
|  禁止 | ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。 |
|  禁止 | まがった針はご使用にならないでください。 |
| 禁止 | フットコントローラーの上に物をのせないでください。 |
|  禁止 | プラグ受けに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください。 |
| 禁止 | ミシンの操作時は、ルーパーカバー、布板などカバー類を閉じてください。 |
|  注意 | お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。 |
|  必ず実行 | 針および押さえは、確実に固定してください。<br>また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。<br>針が押さえにあたり、けがの原因になります。 |
|  必ず実行 | 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。<br>・押さえ、アタッチメントを交換するとき<br>・針糸、ルーパー糸をセットするとき |
|  必ず実行 | 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。 |
| 必ずプラグを抜く | 以下のことをするときには、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。<br>・針、針板、メスを交換するとき<br>・ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行ってください。)<br>・ミシンのお手入れを行うとき |
|  必ずプラグを抜く | ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。<br>・正常に作動しないとき<br>・水に濡れたとき<br>・落下などにより破損したとき<br>・異常な臭い・音がするとき<br>・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき |

# 目　次

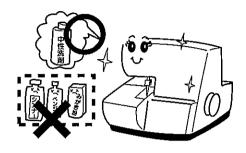


このたびはジャノメミシンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
・ご使用前に、この「ご使用の手引き」をよくお読みいただき正しくお使いください。
・保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りの上、「ご使用の手引き」とともに大切に保管ください。

# ●おとり扱いについてのお願い

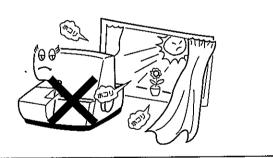
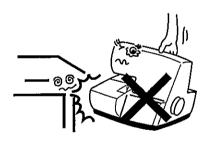
## ◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

## ◇いつまでもご愛用いただくために…

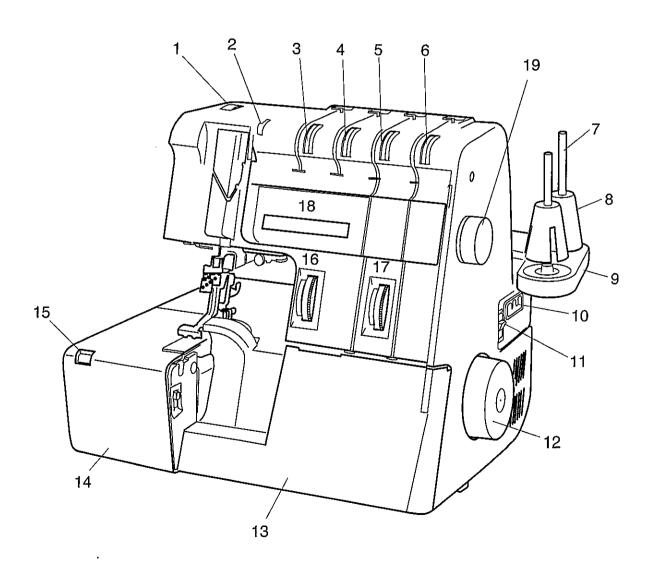
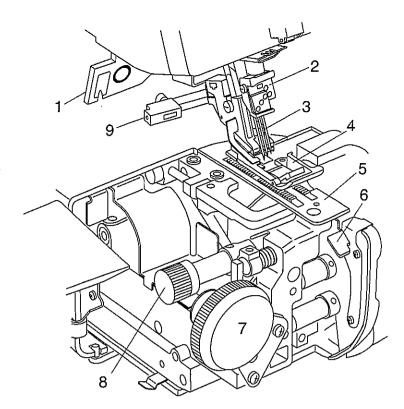
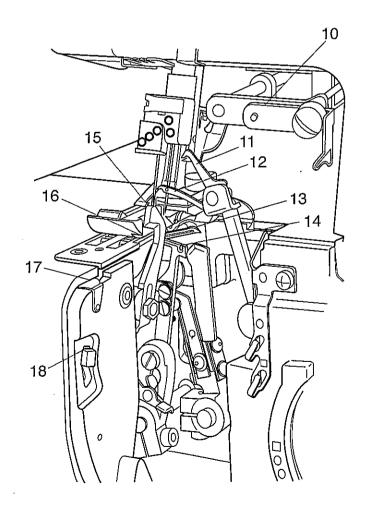
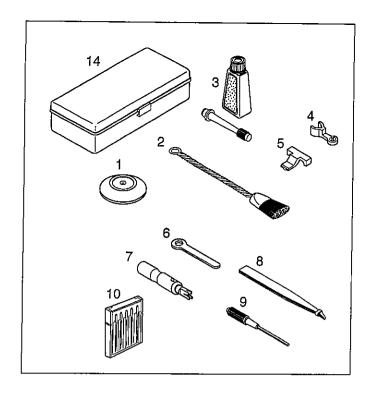
①長時間日光に当てないでください。

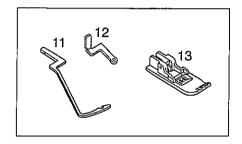
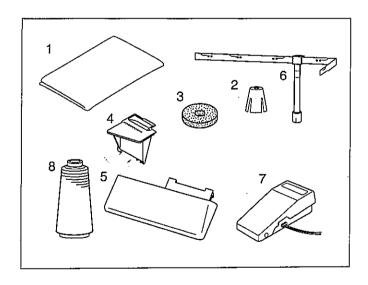
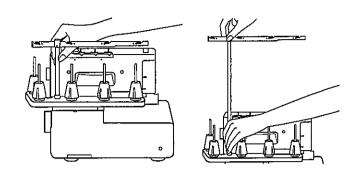
②湿気やほこりの多いところは避けてください。

③落としたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

## ◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり、故障を生じたときは、「調子がよくないときの直し方」（66ページ）により点検・調整を行なってください。

# ●各部の名まえ

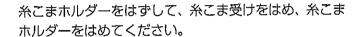
1. 押さえ圧ダイヤル
2. 糸調子解放レバー
3. 針糸調子器（左）（黄色）
4. 針糸調子器（右）（青色）
5. 上ルーパー調子器（赤色）
6. 下ルーパー調子器（緑色）
7. 糸立て棒
8. 糸こまホルダー
9. 糸立て台
10. プラグ受け
11. 電源スイッチ
12. はずみ車
13. ルーパーカバー
14. 布板
15. 切り幅表示窓
16. 差動ダイヤル
17. 送りダイヤル
18. ぬいセット表示パネル
19. 選択ダイヤル

1. 押さえ上げ／糸切り
2. 針止め
3. 針
4. 押さえ
5. 針板
6. 針板解放レバー
7. 切り幅ダイヤル
8. 上メスつまみ
9. 上飾りスプレッダーホルダー

10. トップカバーレバー
11. スプレッダー
12. 上ルーパー
13. 下ルーパー
14. 二重かんルーパー
15. 上メス
16. 下メス
17. バックタック板
18. かがり爪つまみ

# ●標準付属品

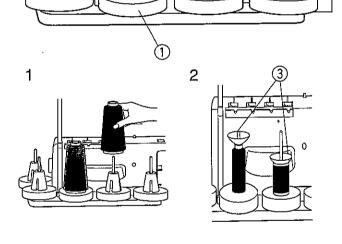
1. 糸こま押さえ
2. ブラシ
3. 油さし
4. 糸ガイド
5. 張力解放クリップ
6. スパナ
7. 糸通し
8. ピンセット
9. 六角ドライバー
10. 針ケース（EL X 705）
11. 上飾りスプレッダー
12. 糸ガイド
13. 透明押さえ（R）
14. ケース

1. ソフトカバー
2. 糸こまホルダー
3. 糸こま受け
4. 補助テーブル（カバーステッチ用）
5. ダストボックス
6. 糸かけスタンド
7. コントローラー
8. 糸こま

## ●糸かけスタンドのつけ方

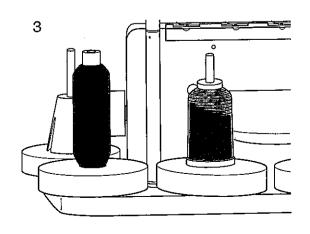
1. 糸かけスタンドを糸立て台の穴に差し込みます。
   糸かけスタンドのピンを糸立て台の穴の中みぞにはまるようにしっかりととめてください。

2. 糸かけスタンドをいっぱいにのばします。
   糸かけが糸立てスタンドの真上にくるように、糸掛けスタンドを回転させてストッパーで位置をきめます。

## ●糸こま受け、糸こま押さえのつけ方

糸こまホルダーをはずして、糸こま受けをはめ、糸こまホルダーをはめてください。

このミシンはこま巻き糸と、コーン巻き糸、両方が使用できます。

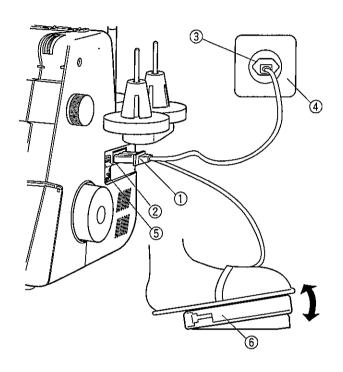
① 糸こま受け
② 糸こまホルダー

1. コーン巻き糸は糸こまホルダーを使います。糸こまホルダーを糸立て棒に取り付け、にコーン巻き糸をはめてください。

2. こま巻き糸は糸こまホルダーをはずして糸こま巻き糸をはめ、糸こま押さえでしっかりと固定してください。

③ 糸こま押さえ

3. 飾り糸は、糸がすべり落ちて糸こまの下に回り込むのをさけるため、糸こま受けの上に直接飾り糸こまをのせてください。

## ●電源のつなぎ方

### ⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電、火災の原因**になります。
- 電源プラグは定期的に抜いて乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり**火災の原因になります。**

1. 電源スイッチを「OFF」にして、プラグをプラグ受けにさしこみます。

2. 電源プラグをコンセントにさしこみます。

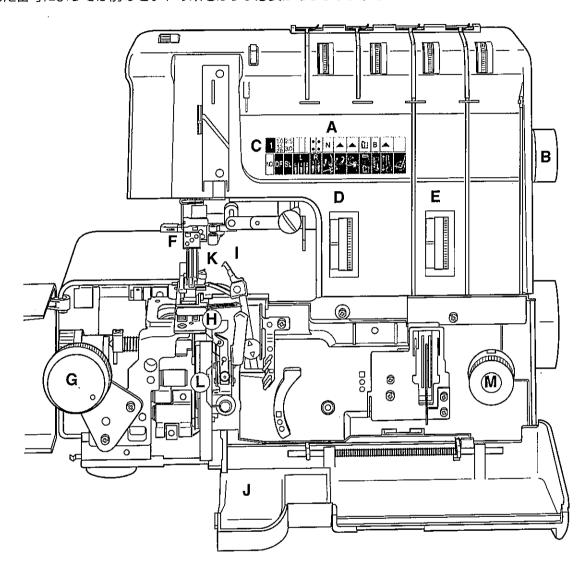
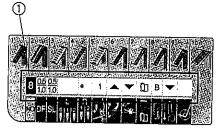
3. 電源スイッチを「ON」にします。

① プラグ
② プラグ受け
③ 電源プラグ
④ コンセント
⑤ 電源スイッチ
⑥ コントローラー

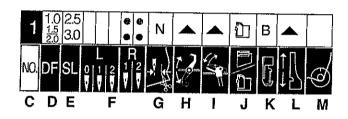
# ●ぬいセットの選び方

1. 選択ダイヤルをまわし、お好みのぬいセット番号を選びます。

2. ぬいセット表示窓の表示に従って、D～Mをセットします。(P.9～15参照)

＊各部のセットをしてから糸をかけてください。
＊選んだ番号によっては前のセットの糸をはずす必要があります。糸をぬくために、からぬいをしないでください。

A. ぬいセット表示窓
B. 選択ダイヤル
C. ぬいセット番号
D. 差動ダイヤル
E. 送りダイヤル
F. 針のとりつけ位置
G. 切り幅調節ダイヤル
H. 上メス位置
I. スプレッダー
J. 補助テーブル
K. 押さえ
L. かがり爪つまみ
M. 補助糸調子ダイヤル

## ◇A. ぬいセット表示窓

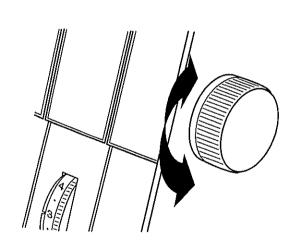
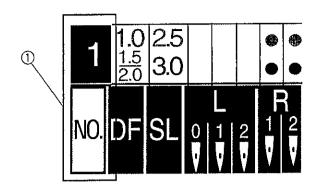
表示パネルやルーパーカバー内側のステッチ表示や、ステッチ早見表を見てぬいたいステッチを選びます。
選んだぬいセットがぬいセット表示窓①に表示されます。
①ぬいセット表示窓

＊ ぬいセットによっては数種類のぬいに対応しています。
例:ぬいセット2は「合わせかがり5」、「ふちかがり3(細幅)」、「ふちかがり3(広幅)」に対応しています。

## ◇B. 選択ダイヤル

選択ダイヤルをまわし、お好みのぬいセット番号を選びます。選んだぬいセット番号は表示窓に表示されます。

ぬいセットの表示は次の通りです

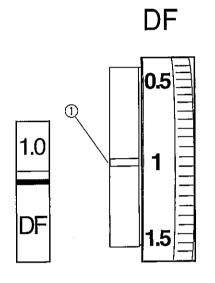
C. ぬいセット番号
D. 差動ダイヤル(伸縮送り)の推しょう値
E. 送りダイヤル(ぬい目あらさ)の推しょう値
F. 選んだぬい目に使う針のとりつけ位置
G. 切り幅
H. 上メス位置
I. スプレッダーの位置
J. ロック用/カバーステッチ用補助テーブル
K. 押さえレバー位置
L. かがり爪つまみの位置
M. 補助糸調子ダイヤル

＊ ▲マークでは、装置を上にあげます。
＊ ▼マークでは、装置を下にさげます。

## ◇C. ぬいセット番号

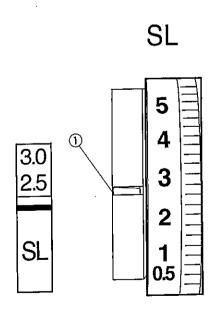
選択ダイヤルをまわすと、糸調子ダイヤルが自動的に「N」にセットされ、選んだぬいセットに適した糸調子に自動セットされます。

①ぬいセット番号

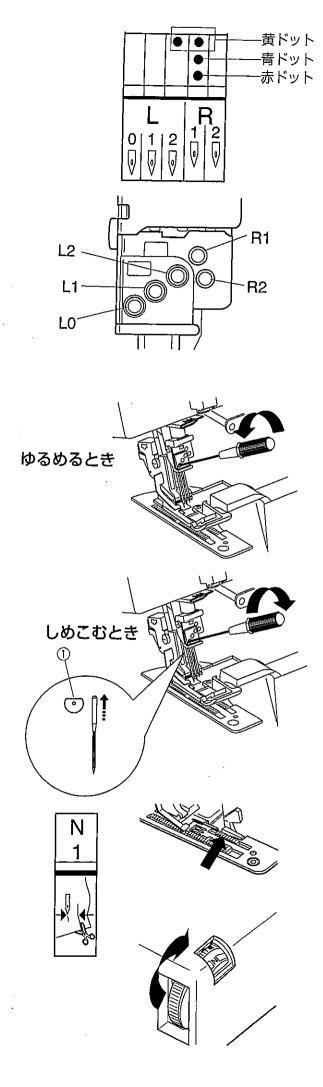
＊必ず正しいぬいセットを選んでください。

＊糸掛けをする前にぬいセットを選んでください。

## ◇D. 差動ダイヤル（DF）

差動ダイヤルをまわして、ぬいセット表示窓に表示される設定値になるようにダイヤルの目盛りと指示線を合わせます。
＊ 伸縮送りは 0.5 から 2 まで調節できます。
(57 ページ参照)

①指示線

## ◇E. 送りダイヤル（SL）

送りダイヤルをまわして、ぬいセット表示窓に表示される設定値になるようにダイヤルの目盛りと指示線を合わせます。
＊ ぬい目あらさは 0.5mm から 5mm まで調節できます。

①指示線

## ◇F. 針のとりつけ位置

針のとりつけ位置は、色つきドットで表示され、全部で5種類あります。(R1, R2, L0, L1, L2)
ドットはぬいセットの種類によって色分けされています。正しい位置に針をとりつけてください。

例）黄ドット（合わせかがり5）
L2とR1に針をとりつけます。

青ドット（ふちかがり3（広幅））
R1に針をとりつけます。

赤ドット（ふちかがり3（細幅））
R1に針をとりつけます。

### ⚠ 注意

針のとりつけは、電源スイッチを切ってから行ってください。
**けがの原因**になります。

### 針のはずし方

はずみ車をまわして針をあげ、6角ドライバーで針止めねじをゆるめて、針をはずします。このとき、針が落ちないように指でつかんでおきます。
ゆるめた針止めねじはかるくしめこんでおきます。

### 針のとりつけ方

六角ドライバーで針止めねじをゆるめ、針の平らな面①を向こう側に向けて、針止めにあたるまでさしこみます。そして、その針止めねじをドライバーでかたくしめます。はずみ車をゆっくりとまわして針が針板や押さえにぶつかったりしないか確認してください。
①平らな面

## ◇G. 切り幅の調節

針からメスが布を切り取る部分までの長さを調節します。切り幅ダイヤルをまわして、ぬいセット表示窓に表示される設定値に切り幅表示窓に表示される目盛を合わせます。

布板を開くと、切り幅ダイヤルがまわしやすくなります。

### 注意

かがり爪に糸がかかった状態で切り幅調節ダイヤルをまわさないで下さい。糸がかかっている場合は、押さえと糸調子解放レバーをあげて、押さえの後ろへ糸を引き出し、かがり爪にかかった糸をはずしてからダイヤルをまわして下さい。

## ◇H. 上メスの解除ともどし方

**⚠ 注意**

上メスを解除／もどす時は、電源スイッチを切ってから行ってください。
**けがの原因**になります。

解除（▼）のし方

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。

2. 上メスつまみを右に押しながら、手前にまわします。

3. はずみ車をまわして、上メスが上下しないことを確認します。

4. ルーパーカバーと布板をしめます。

＊ かがりぬいで上メスを解除してぬう時は、布のふちが針板の右端より出ないようにぬってください。

もどし方（▲）

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。

2. 上メスつまみを右に押しながら、上メスつまみを向こう側へまわします。

## ◇I. スプレッダーのセットと解除のし方

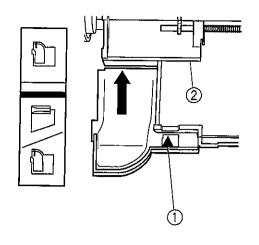
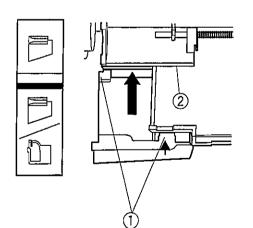
**⚠ 注意**

スプレッダーをセット、解除する時は、電源スイッチを切ってから行ってください。
**けがの原因**になります。

セットのし方（▼）
ルーパーカバーと布板をひらきます。
はずみ車をまわして上ルーパーをあげます。
スプレッダーをさげて、先端を上ルーパーの穴①に差しこみます。
① 上ルーパーの穴

解除のし方（▲）
フックをルーパーからはずし、スプレッダーを止まるまで押しあげます。

例）（合わせかがり 5）（ふちかがり 3：広幅）（フラットロック 3）などはスプレッダーを解除します。

＊ ぬいセット番号 10 では上ルーパーがあがりません。一旦 10 以外の番号にあわせてから上記の作業を行って下さい。

## ◇ J. ロック用とカバーステッチ用 補助テーブル

### ロック用補助テーブルのつけ方

＊ ぬいセット１～９では、必ずロック用補助テーブルをつけてください。

ロック用補助テーブルはルーパーを保護する役目があります。
ルーパーカバーを開いてロック用補助テーブルをルーパーカバーのスロット②にはめ、ロック用補助テーブルの爪がはまるところまで押し込んでください。

① 爪
② スロット

### カバーステッチ用補助テーブルのつけ方

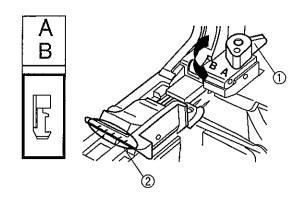
＊ ぬいセット１０では、必ずカバーステッチ用補助テーブルをつけてください。

| ⚠ 注意 |
|---|
| カバーステッチ用補助テーブルをつけた時に、ぬいセット１０以外のぬいセットを選択すると、ミシンを 壊してしまったり、**けがの原因**となります。<br>になります。<br>カバーステッチ用補助テーブルをつける場合には、必ずぬいセットを１０にしてください。 |

ロック用補助テーブルを矢印の方向に引いてとりはずします。

＊ カバーステッチ用補助テーブルをつけた場合、必ず上メスを解除してください。

ルーパーカバーを開いてカバーステッチ用補助テーブルをルーパーカバーのスロット②にはめ、カバーステッチ用補助テーブルの爪がはまるまで押し込んでください。

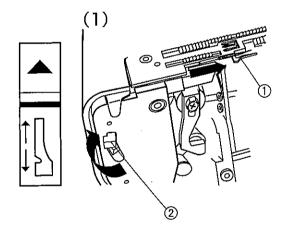
① 爪
② スロット

## ◇K. 押さえレバー

ぬいの種類に合わせて押さえの上にあるレバーをA、もしくはBに合わせます。

① 押さえレバー
② 布の位置決めガイド

押さえの先端には、針のとりつけ位置にあわせて印(布の位置決めガイド)がついており、布の位置決めに便利です。

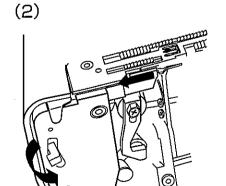
例) 黄色A： 合わせかがり５（レバーA)
　　青色B： ふちかがり３（広幅)、ふちかがり３（細幅)（レバーB)

＊ 上飾りカバーステッチをぬう場合には、押さえを透明押さえと交換してください。

## ◇L. かがり爪つまみの切り替え

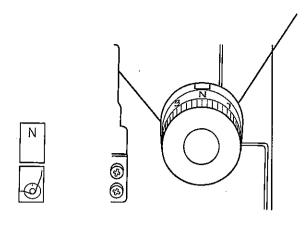
かがり爪つまみを上げ下げして、ふちかがりぬいと巻きぬいの切りかえをします。

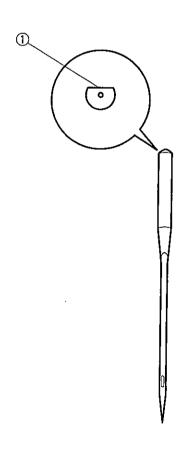
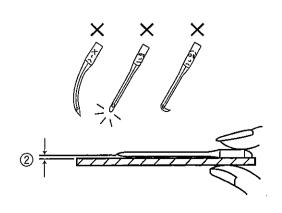
### (1) かがり爪のセットのし方（▲)

かがり爪つまみを上に引き上げます。

① かがり爪
② かがり爪つまみ

### (2) 解除のし方（▼)

かがり爪つまみを下にさげます。

## ◇M. 補助糸調子ダイヤル

5本糸ぬい、もしくはぬいセット10を選択した場合、補助糸調子に糸を掛けてください。

## ●針

ミシンにはオルガン針 EL X 705　90/#14 針がついています。針は必ず EL X 705　90/#14、または EL X 705 80/#12 をご使用ください。

* 上飾りカバーステッチは90/#14を使用してください。

ミシンの調子が悪い場合、針に原因がある場合があります。以下を確認してみてください。

* 針のつけ方
  針の平らな面①を向こう側に向けて差し込みます。
  ストッパーにあたるまで、針を深く差し込みます。
  ぬいセット表示またはステッチ早見表に指定された位置に正しく取り付けてください。
  ①平らな面

* 針がまがっていたり、針先がつぶれている。
  針を交換します。

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのがよい針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

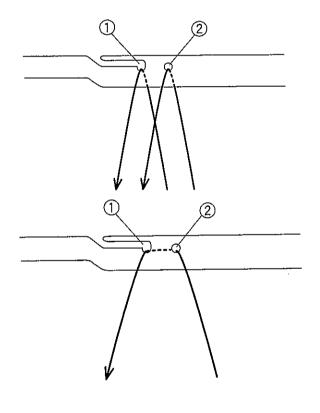
② すきま

## ●糸の通し方

| NO. | DF | SL | L 0 | L 1 | L 2 | R 1 | R 2 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1.0 1.5 2.0 | 2.5 3.0 | | | | ● ● | ● ● | N | ▲ | ▲ | | B | ▲ | |

糸の通し方は選んだぬいセットによって変わります。ステッチ早見表を見て、使う糸道に糸をかけます。(P18～P49)

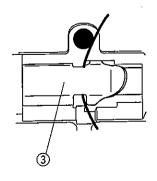
＊ 糸通しの練習には糸調子の色と同じ色の糸を使うことをおすすめします。

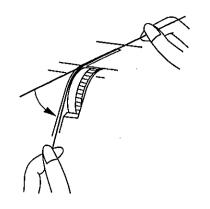
＊ 100%綿糸は切れやすいので、ポリエステル糸を使用してください。

## ●糸かけスタンド

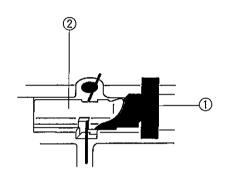
糸かけスタンドをいっぱいに伸ばします。

糸かけスタンドに糸を通す時は、糸の種類によりスリットか穴のどちらかに糸を通すか使いわけてください。
飾りぬいをする時は穴のほうに糸を通します。

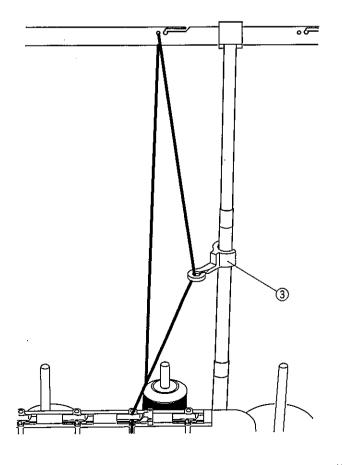
① スリット
② 穴

スリットから外れやすい糸は、図のように穴を通してスリットに通します。

糸かけスタンドに糸を通した後は、糸を図のように天板糸案内に右から左へすべりこませます。

③ 天板糸案内

## ●糸調子への糸の通し方

糸調子器に糸を通す時は糸の両端をもってしごき、糸が確実に糸調子皿2枚の間に入っていることを確かめて下さい。

## ●飾り糸用付属品

① 張力解放クリップ
② 天板糸案内

太い飾り糸を使用する場合には張力解放クリップ①をご使用ください。右側から天板糸案内②の下に差し込みます。使用後はクリップを取り外して下さい。

③ 糸ガイド

飾り糸を使用する場合、糸がからまるのを防止する為に、糸ガイドをとりつけてください。

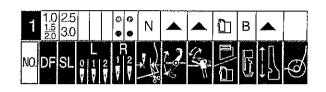
* 飾り糸を使用する場合、ルーパーや針穴にスムーズに通る糸をご使用ください。

* ぬいにむらがでないように、ゆっくりと一定の速度でぬってください。

*糸ガイド③は針糸には使用できません。

# ●ミシンのセット

それぞれの糸道（B2、D3など）に関しては、糸道案内図を御覧下さい。（P41 ～P49）

## 合わせかがり 4

### ミシンのセット

- 選択ダイヤル：1
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：2.5
- 針：R1、R2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3 黄糸道(B2)＝R1 針糸(P.42 参照)
4 青糸道(D3)＝R2 針糸(P.44 参照)

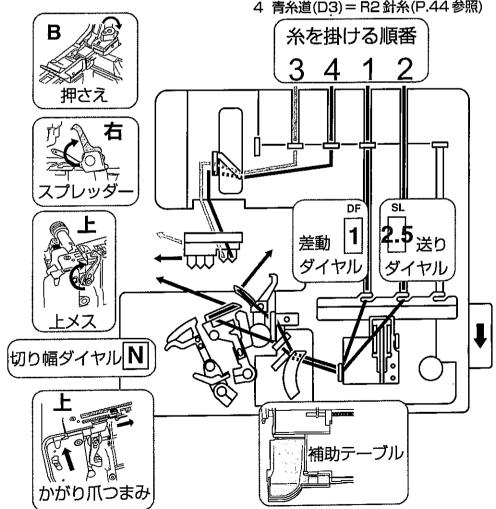
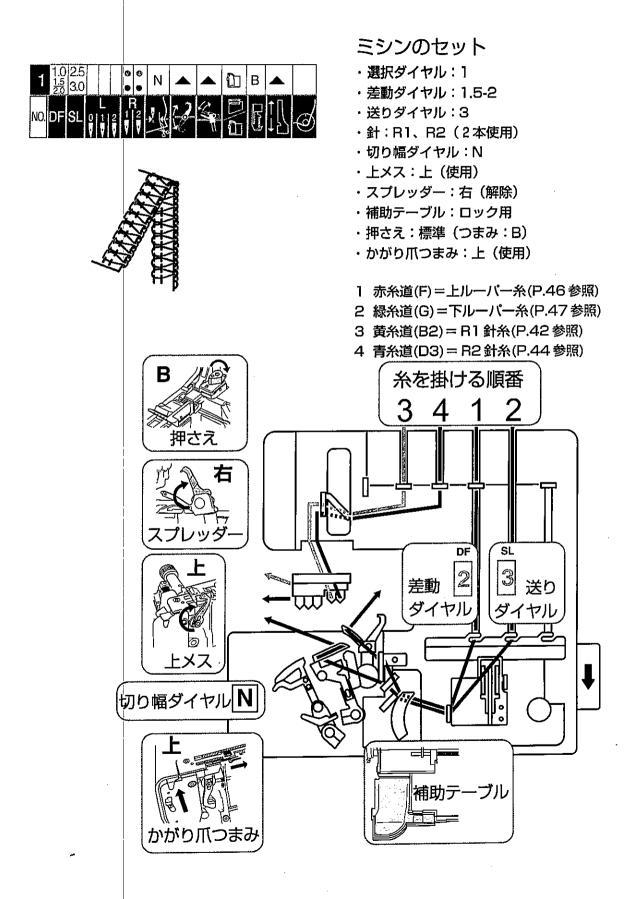
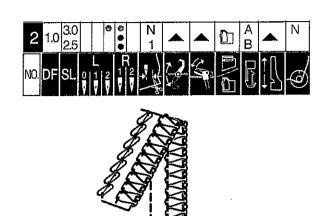
# ストレッチニットふちかがり 4

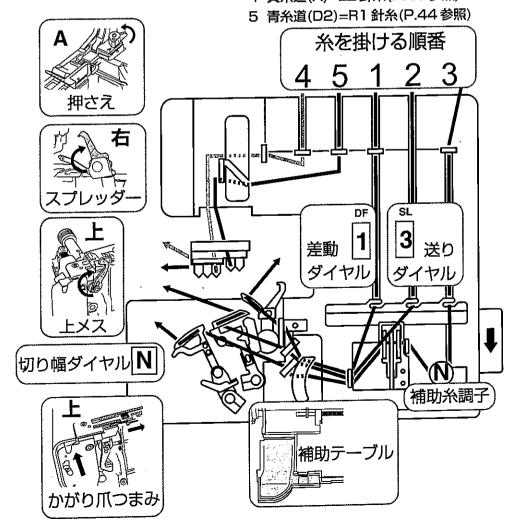
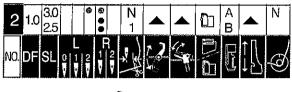
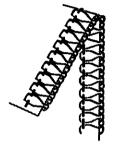
## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：1
- 差動ダイヤル：1.5-2
- 送りダイヤル：3
- 針：R1、R2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3 黄糸道(B2)＝R1 針糸(P.42 参照)
4 青糸道(D3)＝R2 針糸(P.44 参照)

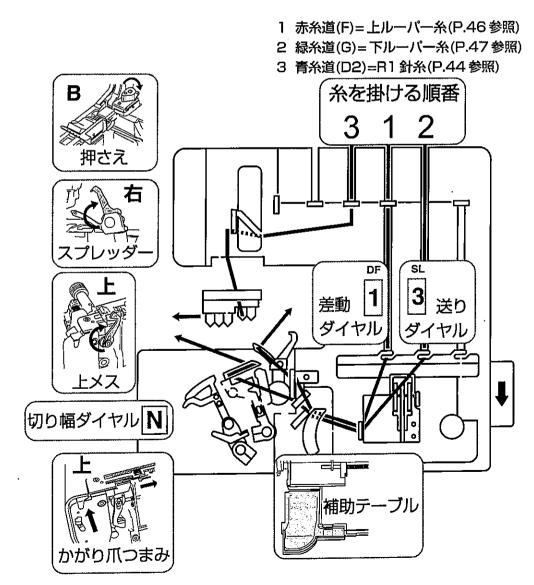
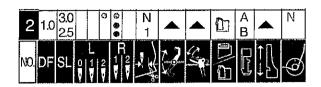
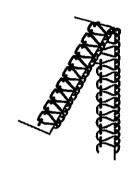
# 合わせかがり 5

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：2
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L2、R1（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：A）
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N

1 赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3 茶糸道(H)＝二重かんルーパー糸(P.48 参照)
4 黄糸道(A)=L2 針糸(P.41 参照)
5 青糸道(D2)=R1 針糸(P.44 参照)

# ふちかがり３（広幅）

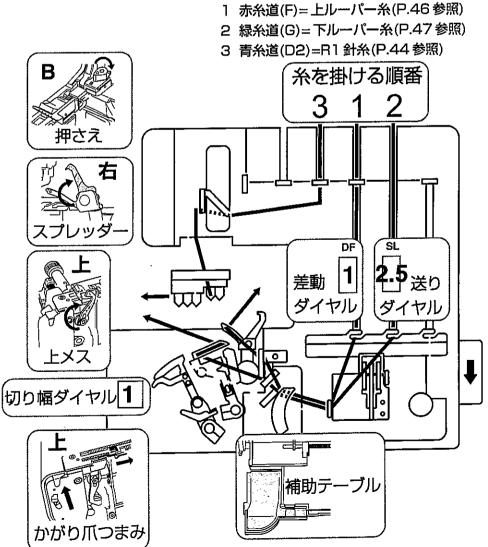
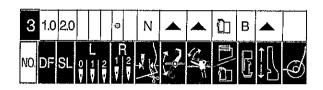
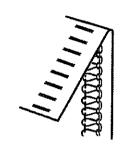
## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：2
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1　赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2　緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3　青糸道(D2)=R1 針糸(P.44 参照)

# ふちかがり３（細幅）

## ミシンのセット

・選択ダイヤル：2
・差動ダイヤル：1
・送りダイヤル：2.5
・針：R1（1本使用）
・切り幅ダイヤル：1
・上メス：上（使用）
・スプレッダー：右（解除）
・補助テーブル：ロック用
・押さえ：標準（つまみ：B）
・かがり爪つまみ：上（使用）

1　赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46参照)
2　緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47参照)
3　青糸道(D2)=R1針糸(P.44参照)

# フラットロック3

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：3
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：2
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46参照)
2 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47参照)
3 黄糸道(B2)=R1 針糸(P.42参照)

糸を掛ける順番
3 1 2

B 押さえ

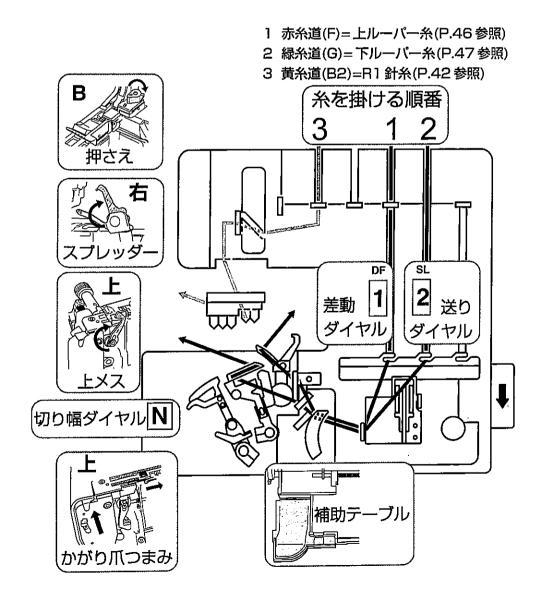
右 スプレッダー

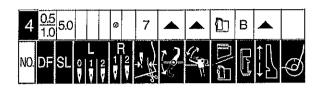
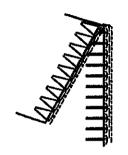
上 上メス

切り幅ダイヤル N

上 かがり爪つまみ

DF 差動 1 ダイヤル

SL 2 送り ダイヤル

補助テーブル

# ブランケットステッチ

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：4
- 差動ダイヤル：0.5-1
- 送りダイヤル：5
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：7
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1　赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2　緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3　黄糸道(C)=R1 針糸(P.43 参照)

糸を掛ける順番
3　1　2

B
押さえ

右
スプレッダー

上
上メス

切り幅ダイヤル 7

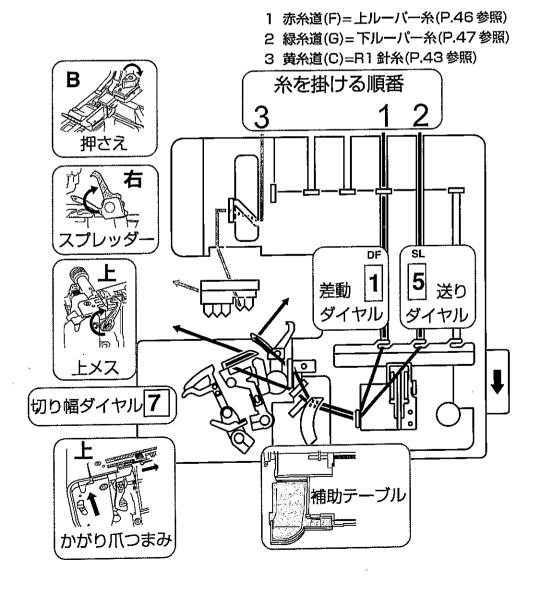
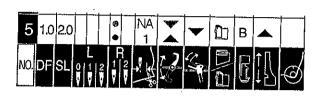
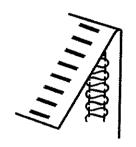
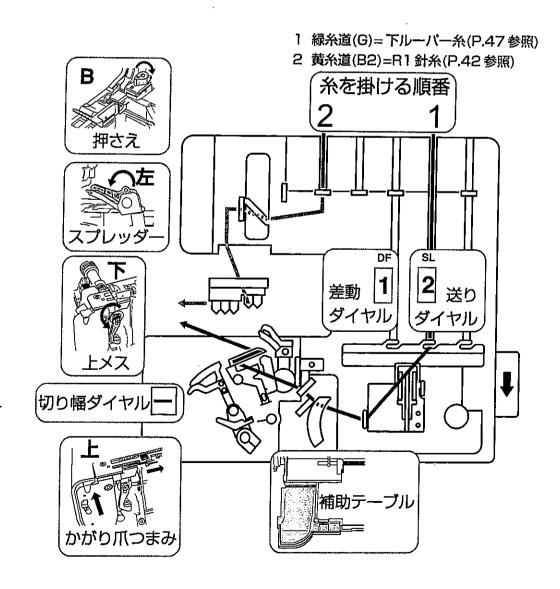
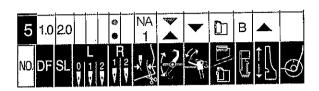
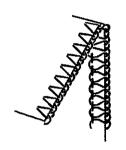
上
かがり爪つまみ

DF
差動 1
ダイヤル

SL
5 送り
ダイヤル

補助テーブル

# フラットロック2

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：5
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：2
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：調節不要
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：左（使用）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47参照)
2 黄糸道(B2)=R1 針糸(P.42参照)

糸を掛ける順番
2 1

押さえ B
スプレッダー 左
上メス 下
切り幅ダイヤル —
かがり爪つまみ 上
差動ダイヤル DF 1
送りダイヤル SL 2
補助テーブル

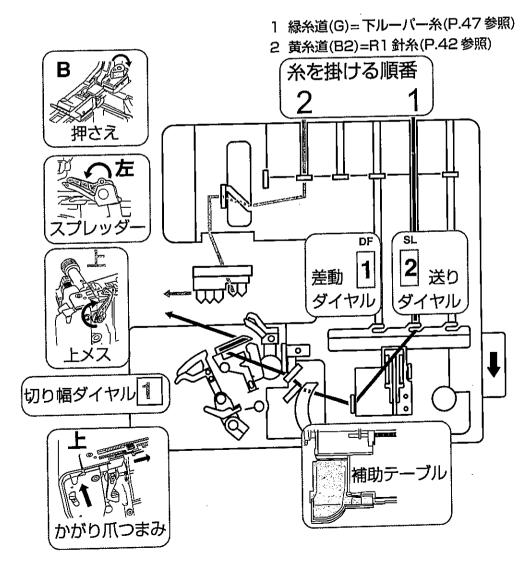
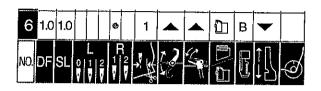
# ふちかがり 2

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：5
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：2
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：左（使用）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
2 黄糸道(B2)=R1 針糸(P.42 参照)

# 細ロック3

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：6
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：1
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：下（解除）

1　赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2　緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3　黄糸道(B2)=R1 針糸(P.42 参照)

糸を掛ける順番
3　1　2

B
押さえ

右
スプレッダー

上
上メス

切り幅ダイヤル 1

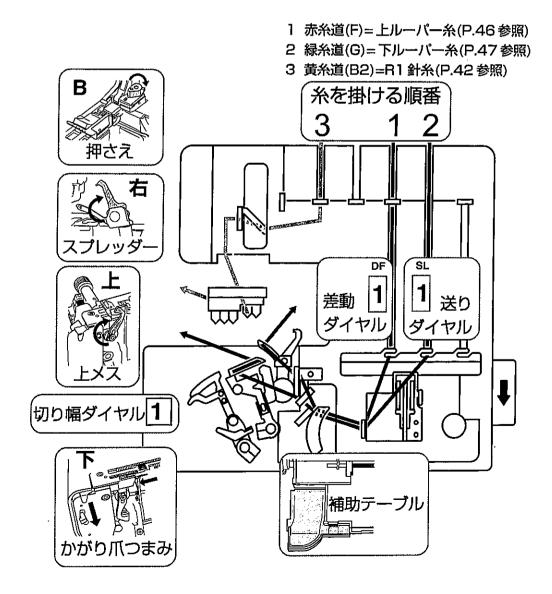
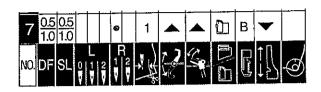
下
かがり爪つまみ

DF
差動ダイヤル 1

SL
1 送りダイヤル

補助テーブル

# 巻きぬい3

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：7
- 差動ダイヤル：0.5-1
- 送りダイヤル：0.5-1
- 針：R1（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：右（解除）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：下（解除）

1 赤糸道(F)＝上ルーパー糸(P.46 参照)
2 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
3 黄糸道(B2)＝R1 針糸(P.42 参照)

糸を掛ける順番
3 1 2

B
押さえ

右
スプレッダー

上
上メス

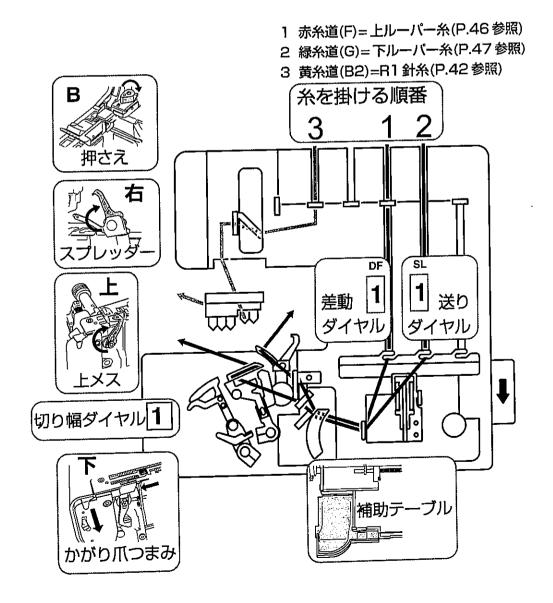
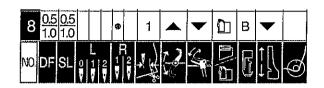
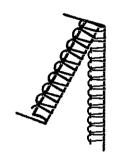
切り幅ダイヤル 1

下
かがり爪つまみ

DF
差動 1 ダイヤル

SL
1 送り ダイヤル

補助テーブル

# 巻きぬい2

## ミシンのセット

・選択ダイヤル：8
・差動ダイヤル：0.5-1
・送りダイヤル：0.5-1
・針：R1（1本使用）
・切り幅ダイヤル：1
・上メス：上（使用）
・スプレッダー：左（使用）
・補助テーブル：ロック用
・押さえ：標準（つまみ：B）
・かがり爪つまみ：下（解除）

1　緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.46参照)
2　黄糸道(B2)＝R1針糸(P.42参照)

糸を掛ける順番
2　1

B
押さえ

左
スプレッダー

上
上メス

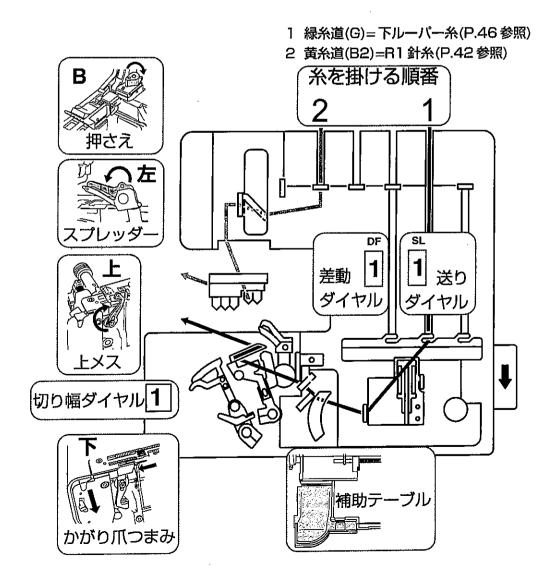
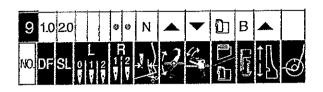
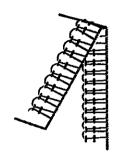
切り幅ダイヤル 1

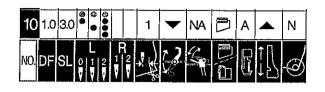
下
かがり爪つまみ

DF
差動 1
ダイヤル

SL
1 送り
ダイヤル

補助テーブル

# つつみかがり

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：9
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：2
- 針：R1、R2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：N
- 上メス：上（使用）
- スプレッダー：左（使用）
- 補助テーブル：ロック用
- 押さえ：標準（つまみ：B）
- かがり爪つまみ：上（使用）

1 緑糸道(G)＝下ルーパー糸(P.47 参照)
2 黄糸道(B2)＝R1 針糸(P.42 参照)
3 青糸道(D3)＝R2 針糸(P.44 参照)

糸を掛ける順番
2 3 1

B
押さえ

左
スプレッダー

上
上メス

切り幅ダイヤル N

上
かがり爪つまみ

DF
差動 1 ダイヤル

SL
2 送り ダイヤル

補助テーブル

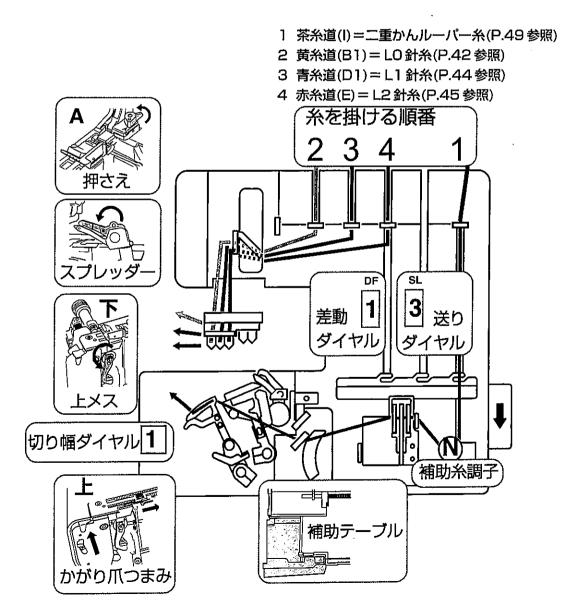
# トリプルカバーステッチ

## ミシンのセット

・選択ダイヤル：10
・差動ダイヤル：1
・送りダイヤル：3
・針：L0、L1、L2（3本使用）
・切り幅ダイヤル：1
・上メス：下（解除）
・スプレッダー：調節不要
・補助テーブル：カバーステッチ用
・押さえ：標準（つまみ：A）
・かがり爪つまみ：上（使用）
・補助糸調子：N

1 茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49 参照)
2 黄糸道(B1)＝L0 針糸(P.42 参照)
3 青糸道(D1)＝L1 針糸(P.44 参照)
4 赤糸道(E)＝L2 針糸(P.45 参照)

糸を掛ける順番
2 3 4 1

A
押さえ
スプレッダー
下
上メス
切り幅ダイヤル 1
上
かがり爪つまみ
DF
差動 1 ダイヤル
SL
3 送り ダイヤル
N
補助糸調子
補助テーブル

# カバーステッチ（広幅）

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：10
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L0、L2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：調節不要
- 補助テーブル：カバーステッチ用
- 押さえ：標準（つまみ：A）
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N

1　茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49 参照)
2　黄糸道(B1)＝L0 針糸(P.42 参照)
3　赤糸道(E)＝L2 針糸(P.45 参照)

糸を掛ける順番
2　3　1

A
押さえ

スプレッダー

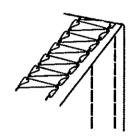
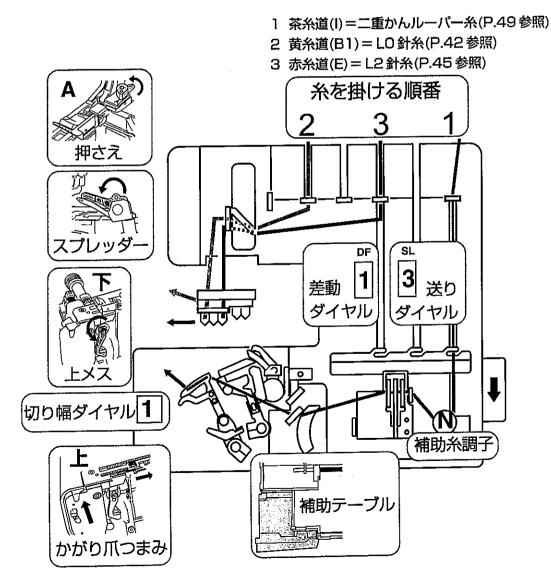
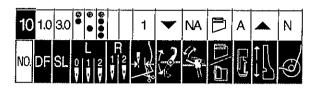
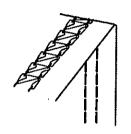
下
上メス

切り幅ダイヤル 1

上
かがり爪つまみ

DF
差動 1
ダイヤル

SL
3 送り
ダイヤル

N
補助糸調子

補助テーブル

# カバーステッチ（細幅）

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：10
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L1、L2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：調節不要
- 補助テーブル：カバーステッチ用
- 押さえ：標準（つまみ：A）
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N

1 茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49 参照)
2 青糸道(D1)＝L1 針糸(P.44 参照)
3 赤糸道(E)＝L2 針糸(P.45 参照)

糸を掛ける順番
2 3 1

A
押さえ

スプレッダー

下
上メス

切り幅ダイヤル 1

上
かがり爪つまみ

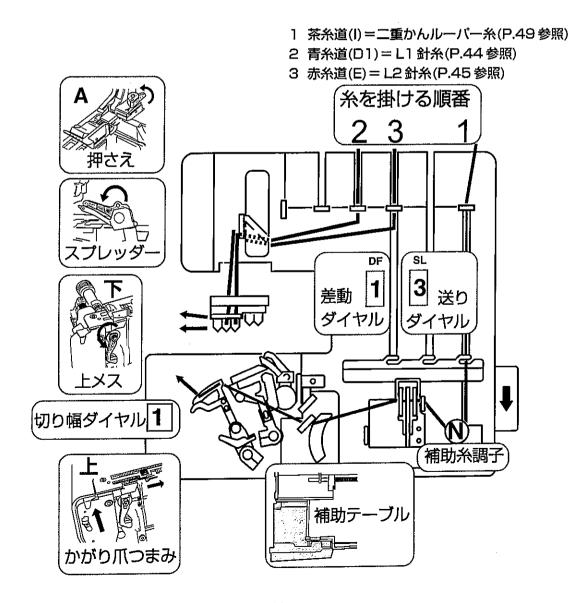
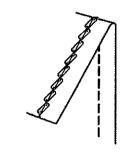
DF
差動 1
ダイヤル

SL
3 送り
ダイヤル

N
補助糸調子

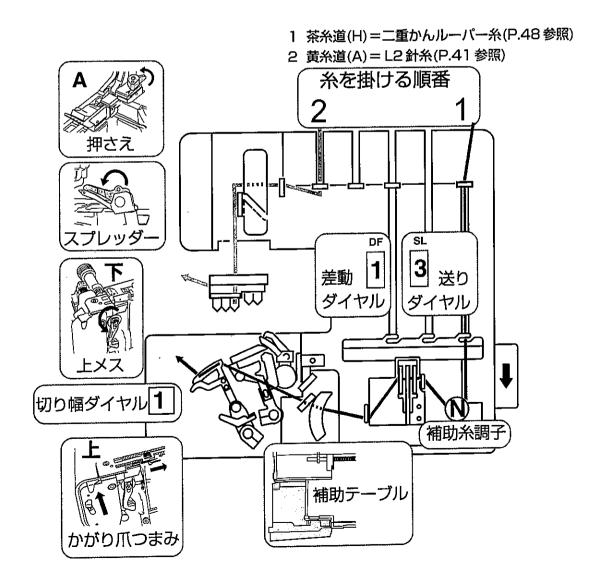
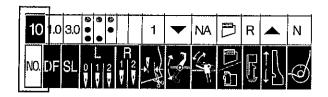
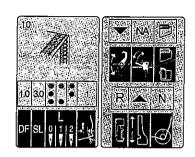
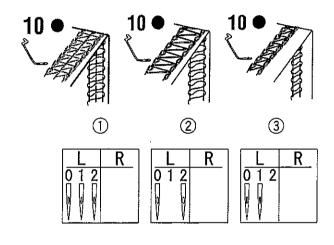
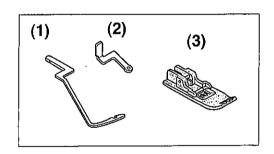
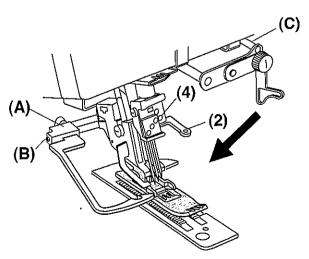
補助テーブル

# チェーンステッチ

| 10 | 1.0 | 3.0 | ● | ● | ●●● | | | 1 | ▼ | NA | | A | ▲ | N |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| NO. | DF | SL | L 0 | 1 | 2 | R 1 | 2 | | | | | | | |

※糸調子（黄）は「1」に合わせます。

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：10
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L2（1本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：調節不要
- 補助テーブル：カバーステッチ用
- 押さえ：標準（つまみ：A）
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N

1 茶糸道(H)＝二重かんルーパー糸(P.48 参照)
2 黄糸道(A)＝L2 針糸(P.41 参照)

# ●上飾りカバーステッチ（トリプル、広幅、細幅）

1. 選択ダイヤルをまわして、ぬいセット10にあわせます。

2. ミシンの電源スイッチを切ります。

3. はずみ車を手前にまわし、上ルーパーが解除（上ルーパーが下がって動かなくなる。）されている事を確認します。

4. ステッチ早見表を参考にして糸を通します。

＊ 送りダイヤルを2.5以下にしないでください。

5. お好みの上飾りの種類により、針の取り付け位置をかえてください。
   ① トリプル
   ② 広幅
   ③ 細幅

6. 押さえをはずし、透明押さえ(3)をつけます。

7. 上飾りスプレッダー(1)を上飾りスプレッダーホルダー(A)にはめこみ、ねじ(B)を六角ドライバーでしめます。

8. R1、R2ねじをゆるめ、糸ガイド(2)をR1、R2の穴に差し込みます。R2穴(4)のみしっかりと六角ドライバーでしめます。

9. ルーパーカバーをひらき、押さえ上げを上にして、押さえが下がった状態でトップカバーレバー（C）をおろします。

## ⚠ 注意

押さえを交換する前、押さえが上がっているときに、トップカバーレバー（C）をおろさないでください。押さえの端がトップカバーレバーにあたり、**故障の原因**になります。

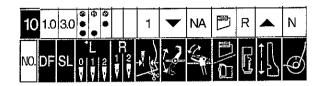
10. はずみ車を手前にまわし、上飾りスプレッダーが正しく動いているか確認します。

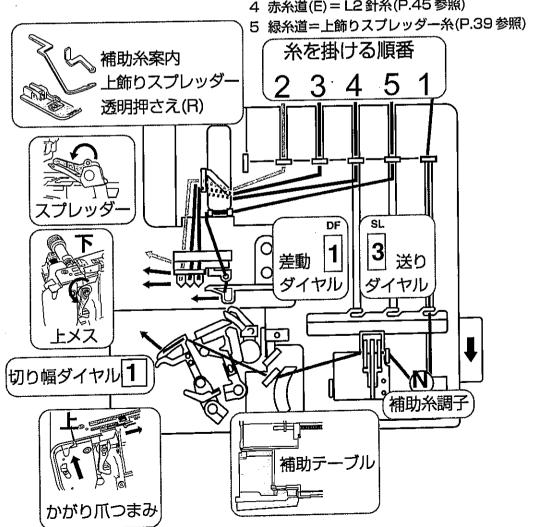
# 上飾りトリプルカバーステッチ

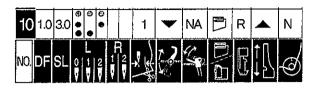
ふところが狭い為、布端っこのみの使用となる。（布の中央では使用不可）

＊針はEL X 705　90/#14を使用してください。

> **⚠ 注意**
>
> 厚さ2mm以上になるぬいはしないでください。
> ぬい不良の原因になります。

## ミシンのセット

- ・選択ダイヤル：10
- ・差動ダイヤル：1
- ・送りダイヤル：3
- ・針：L0、L1、L2（3本使用）
- ・切り幅ダイヤル：1
- ・上メス：下（解除）
- ・スプレッダー：調節不要
- ・補助テーブル：カバーステッチ用
- ・押さえ：透明
- ・かがり爪つまみ：上（使用）
- ・補助糸調子：N
- ・補助糸案内、上飾りスプレッダー使用

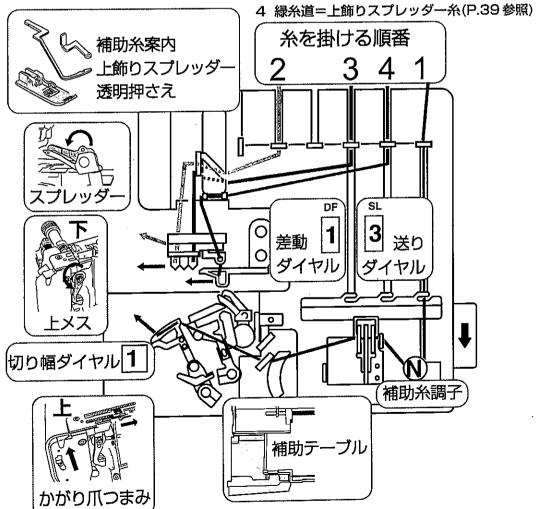
1　茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49参照)
2　黄糸道(B1)＝L0針糸(P.42参照)
3　青糸道(D1)＝L1針糸(P.44参照)
4　赤糸道(E)＝L2針糸(P.45参照)
5　緑糸道＝上飾りスプレッダー糸(P.39参照)

# 上飾りカバーステッチ（広幅）

＊針はEL X 705　90/#14を使用してください。

## ⚠ 注意

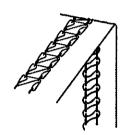
厚さ2mm以上になるぬいはしないでください。
ぬい不良の原因になります。

### ミシンのセット

- 選択ダイヤル：10
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L0、L2（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：調節不要
- 補助テーブル：カバーステッチ用
- 押さえ：透明
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N
- 補助糸案内、上飾りスプレッダー使用

1　茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49参照)
2　黄糸道(B1)＝L0針糸(P.42参照)
3　赤糸道(E)＝L2針糸(P.45参照)
4　緑糸道＝上飾りスプレッダー糸(P.39参照)

# 上飾りカバーステッチ（細幅）

＊針はEL X 705　90/#14を使用してください。

| 10 | 1.0 | 3.0 | ● | ● | ● | | | 1 | ▼ | NA | [icon] | R | ▲ | N |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| NO. | DF | SL | L 0 | L 1 | L 2 | R 1 | R 2 | [icon] | [icon] | [icon] | [icon] | [icon] | [icon] | [icon] |

**⚠ 注意**

厚さ2mm以上になるぬいはしないでください。
ぬい不良の原因になります。

## ミシンのセット

- 選択ダイヤル：10
- 差動ダイヤル：1
- 送りダイヤル：3
- 針：L0、L1（2本使用）
- 切り幅ダイヤル：1
- 上メス：下（解除）
- スプレッダー：調節不要
- 補助テーブル：カバーステッチ用
- 押さえ：透明
- かがり爪つまみ：上（使用）
- 補助糸調子：N
- 補助糸案内、上飾りスプレッダー使用

1　茶糸道(I)＝二重かんルーパー糸(P.49 参照)
2　黄糸道(B1)＝L0 針糸(P.42 参照)
3　青糸道(D1)＝L1 針糸(P.44 参照)
4　緑糸道＝上飾りスプレッダー糸(P.39 参照)

糸を掛ける順番
2 3 4 1

補助糸案内
上飾りスプレッダー
透明押さえ

スプレッダー

下
上メス

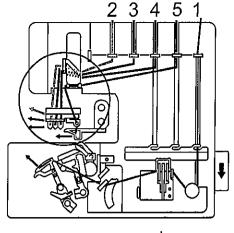
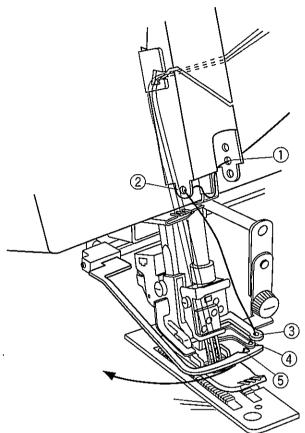
切り幅ダイヤル 1

上
かがり爪つまみ

DF
差動 1
ダイヤル

SL
3 送り
ダイヤル

N
補助糸調子

補助テーブル

## ●上飾りスプレッダーの糸通し

緑色の糸調子皿に糸を通し、糸ガイド①～⑤の順に通します。

天秤カバーの右下部に穴が3つ開いています。
(①の穴のある糸ガイド)
糸の種類により、糸通しする穴をかえてください。

上穴：ウーリーナイロン糸に使用します。
中穴：標準のオーバーロック用糸に使用します。
下穴：伸縮性の無い糸に使用します。

11. ルーパーカバーを閉じます。
はずみ車を手前にまわし、上飾りスプレッダーが正しく動作しているか確認し、針をあげます。

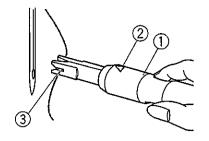
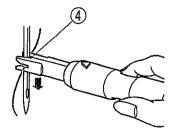
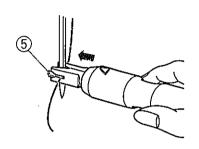
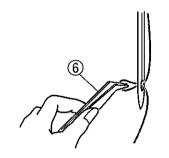
12. 押さえをあげ、布を押さえの下において押さえをおろします。

13. トップカバー糸（緑）を針の前にもってゆき、上飾りスプレッダーのフック⑤にかけます。
フックに糸をかけたまま糸を片手でもち、もう片方の手ではずみ車をまわしてループをつくります。

14. コントローラーをふんで、すこしずつ速度をあげます。
低速～中速でぬいます。

**＊調整**
上飾りスプレッダーが糸をすくわない場合、糸調子（緑）を強くして、糸を引きます。

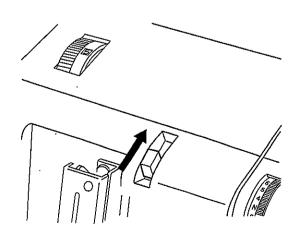
トリプルぬいや広幅ぬいをする場合、糸調子（赤）を強くしてください。

# ●糸通しのつかい方

ホルダーの三角マークを上向きにして持ち、針糸を横向きのＹ字溝に入れます。
① 糸通しのホルダー
② 三角マーク
③ Ｙ字溝

ホルダーの三角マークを上向きにして、糸の端を持ち、Ｖ字溝を針の中ほどに軽く押し当てます。
④ Ｖ字溝

糸の端を持ったまま、ホルダーを針に軽く押し当てながら下にゆっくりとすべらせます。

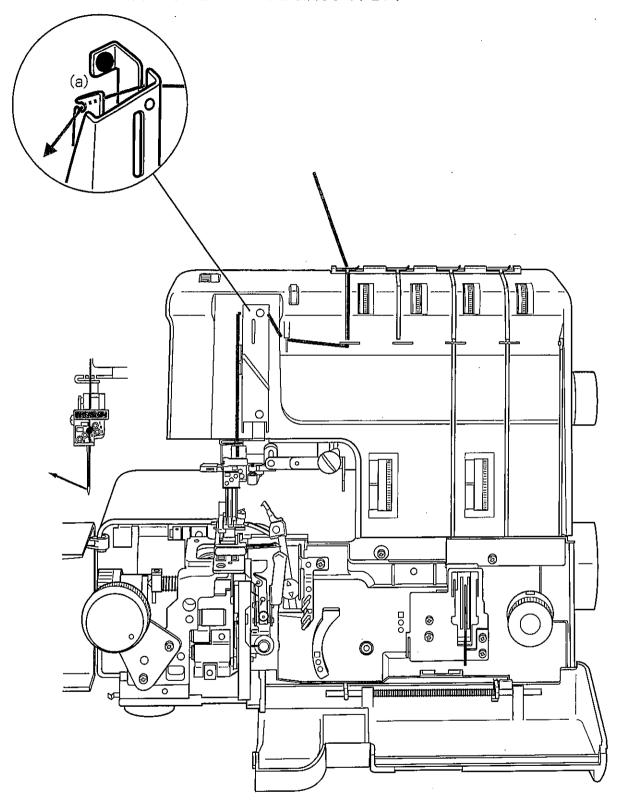
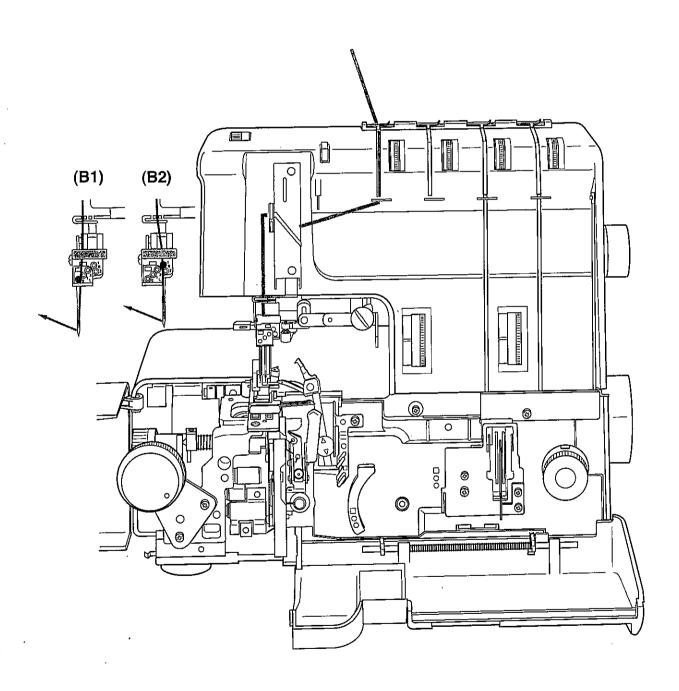
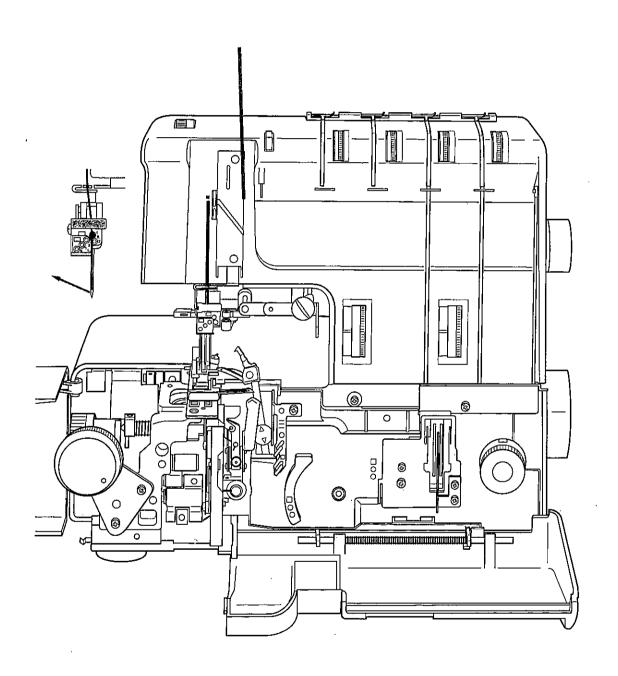
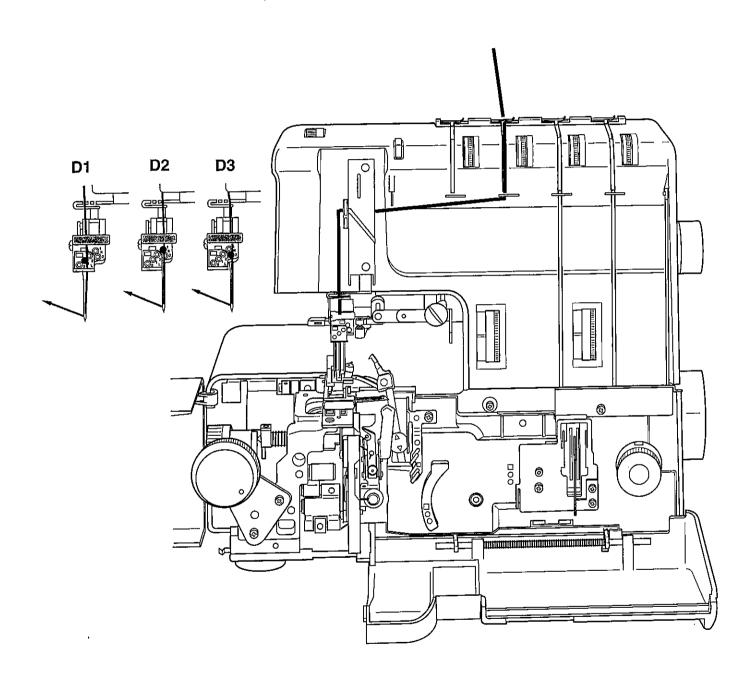
糸通しピンが針穴に入ったら、ホルダーを押して針糸を針穴に通します。
⑤糸通しピン

ホルダーをゆっくり戻し、糸輪をピンセットで後ろに引き出します。
⑥ピンセット

# ●糸調子解放レバー

糸を通し終わったら、糸調子解放レバーを押しながら糸を10cmほど引き出すと、糸が糸調子皿の間にしっかりと通ります。

糸調子解放レバーはかがり爪から糸を外す時にも使えます。

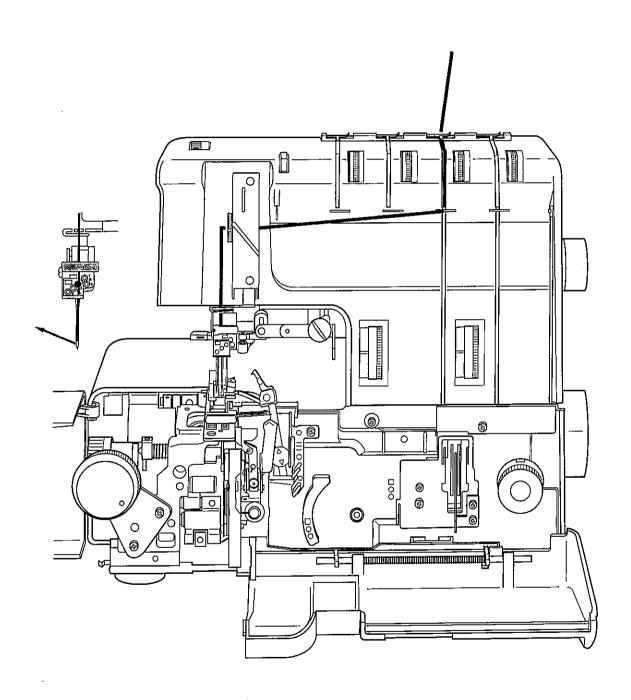
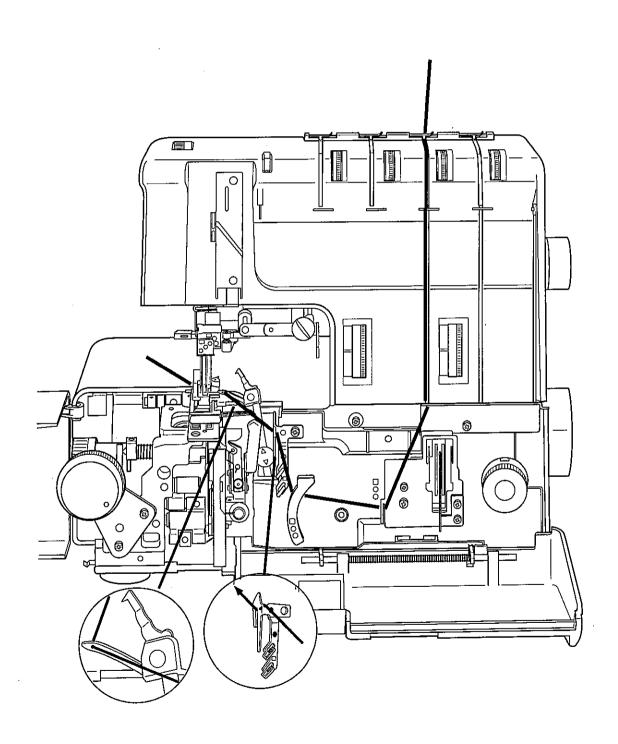
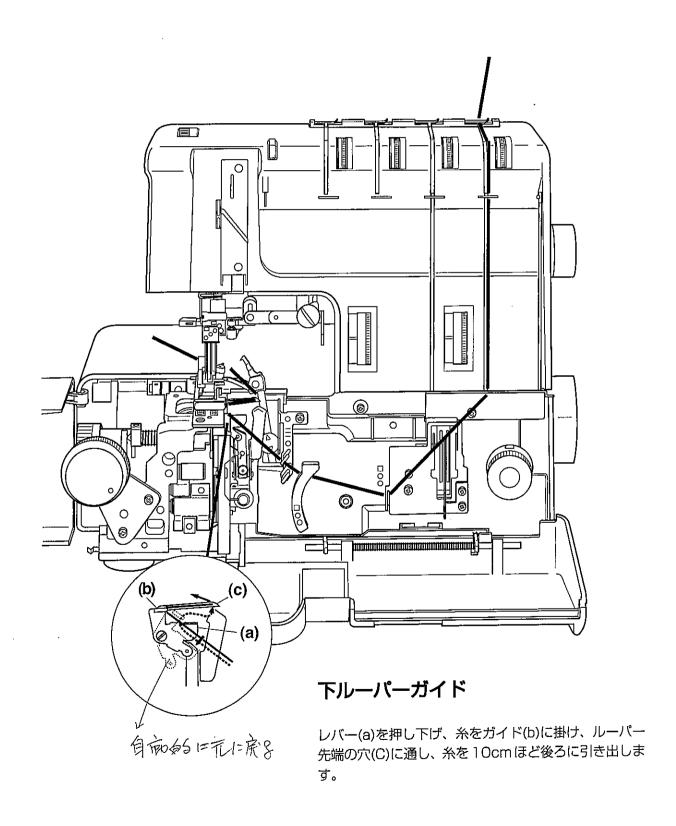
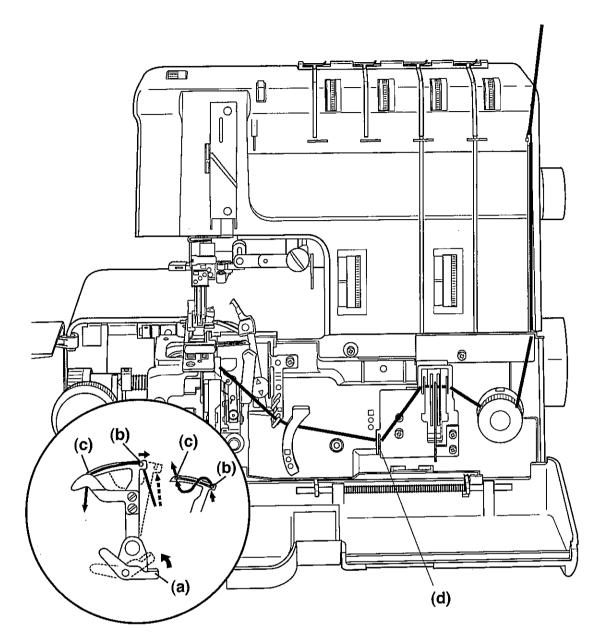
# 糸道案内図（糸道：黄(A)）

＊天びんの糸かけ溝（a）に糸が通っていることを確認して下さい。

# 糸道案内図（糸道：黄(B1)、黄(B2)）

# 糸道案内図（糸道：黄(C)）

# 糸道案内図（糸道：青(D1)、青(D2)、青(D3)）

# 糸道案内図（糸道：赤(E)）

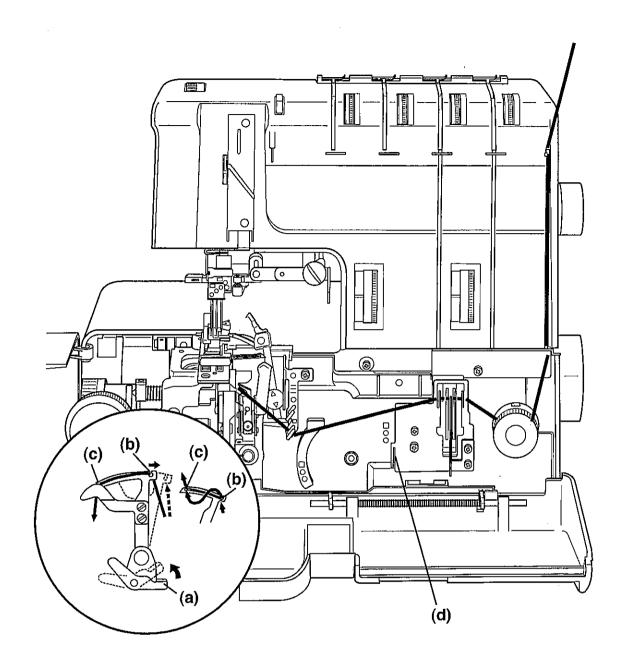
# 糸道案内図（糸道：赤(F)）

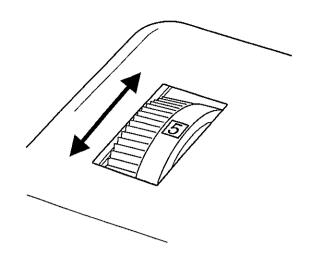
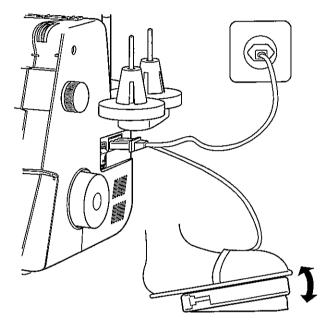
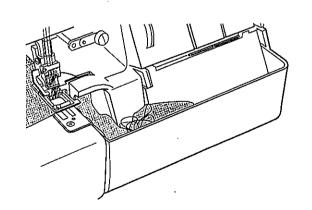
# 糸道案内図（糸道：緑(G)）

## 下ルーパーガイド

レバー(a)を押し下げ、糸をガイド(b)に掛け、ルーパー先端の穴(C)に通し、糸を10cmほど後ろに引き出します。

# 糸道案内図（糸道：茶(H)チェーンステッチ、及び５本糸ぬい用）

## 二重かんルーパー糸の通し方

はずみ車を手前に回し、針を最下点に下げます。
レバー(a)を上げ、二重かんルーパーを解除します。
溝(b)に後ろから前へ糸を掛けます。ルーパーに沿って糸を引き、ルーパーの穴(C)に前から後ろへ糸を通し、約10～15cmほど糸を引き出します。
レバー(a)を下げ、二重かんルーパーを戻します。
はずみ車を手前にまわして針を最上点にあげておきます。
天びんの脇の糸ガイド(d)には糸を通さないでください。

# 糸道案内図（糸道：茶(l)カバーステッチ、及び上飾りカバーステッチ）

## 二重かんルーパー糸の通し方

はずみ車を手前に回し、針を最下点に下げます。
レバー(a)を上げ、二重かんルーパーを解除します。
溝(b)に後ろから前へ糸を掛けます。ルーパーに沿って糸を引き、ルーパーの穴(C)に前から後ろへ糸を通し、約10～15cmほど糸を引き出します。
レバー(a)を下げ、二重かんルーパーを戻します。
はずみ車を手前にまわして針を最上点にあげておきます。
天びんの脇の糸ガイド(d)には糸を通さないでください。

## ●押さえ圧の調節

通常、押さえ圧を調節する必要はありませんが極うす物や厚みのある部分をぬう時は、押さえ圧を弱くしてください。押さえ圧ダイヤルをまわして小さな数字にあわせます。
ぬい終わったら、押さえ圧ダイヤルを「5」にもどしてください。

## ●速度の調節

ミシンの速さはフットコントローラーで調節します。

フットコントローラーは深く踏み込むと速くなります。

| ⚠ 注意 |
|---|
| コントローラーの上に物を置かないでください。 |

## ●ダストボックス

ルーパーカバーの切り欠き部にダストボックスの突起部をはめ込んで、布くず受けとして使用します。

(1)　　　　　　　(2)

# ●ぬってみましょう

このミシンはうす物から中物の生地をぬうのに適しています。

（1） 押さえ上げを手前に引くと、押さえが上がります。

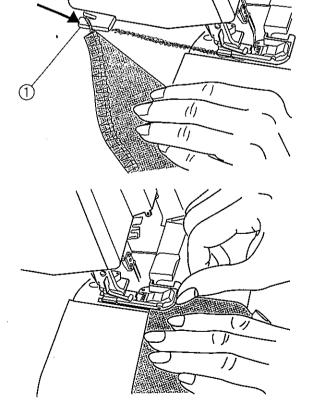
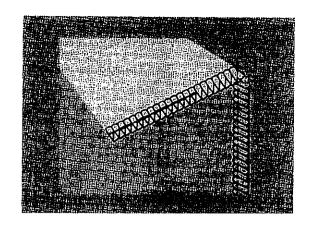
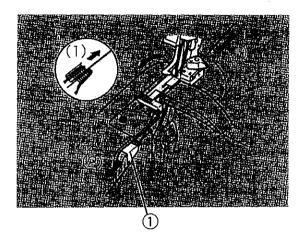
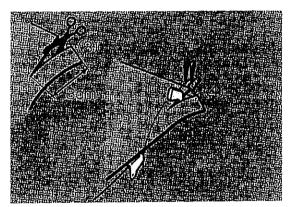
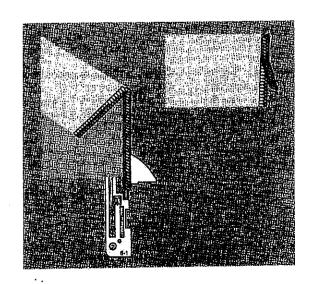
（2） 押さえ上げを向こう側に押すと、押さえが下がります。

## ◇ふちかがり、オーバーロックのぬい方

糸を押さえの下から後ろへ引き出し、押さえをさげます。
ゆっくり5～6 cmからぬいして確かめます。
布を押さえの手前にセットしてぬい始めます。
低速でぬい始め、徐々にぬい速度を速くしていきます。
＊押さえを上げる必要はありません。

手で布をガイドしながらぬいます。ぬい目の状態を確認し、異常がある場合は糸が正しくかけられているかチェックします。

＊実際のぬいと同じ布の端切れで試しぬいをしましょう。

布端まできたら、そのままぬい続け、ゆっくりと布を後ろ側に引きながら１０cmほど空環（鎖状にからみ合った糸）を出します。
押さえ上げの糸切りで糸を切ります。
①　糸切り

次の布を続けてぬう場合は、押さえの手前に布を置き、押さえの先端を少し持ち上げて、その下に布を差し込みます。

## ◇バックタック板

バックタック板を使うと、ぬい始めの糸をぬい込んでほつれ止めができます。
合わせかがり 4 、ストレッチニットふちかがり 4 、ふちかがり 3 （広幅）ふちかがり 3 （細幅）、ふちかがり 2 、つつみかがりの時に使えます。

（1） 押さえを上げ、ゆっくりと糸をかがり爪から外します。
（2） 糸を後ろ側に引き出し、押さえの左側から手前に引きます。糸を下からバックタック板にはさみ込みます。

① バックタック板

（3） ぬい始めは 3 cm ほど切り込みを入れておくとよいでしょう。
（4） 針の手前に布を置きます。
（5） 押さえを下げ、ぬい始めます。ぬい始めの糸は布の裏側に自動的にぬい込まれます。

※ バックタック板は合わせかがり 5 、ブランケットステッチ、チェーンステッチ、カバーステッチ、巻きぬい、細ロックでは使えません。

## ◇ぬい終わりの始末

布端までぬいミシンを止めます。
針と押さえを上げます。

糸調子解放レバーを押しながら、ゆっくり布を後ろへ引いて、糸をかがり爪から外します。
布を裏返し、布端を送り歯の手前に合わせます。
糸調子皿の上の糸を引いてたるみをなくします。

布のふちを針板の側面に合わせ、押さえを下げます。
5 cm ほど重ねぬいをしながら布を左側に外します。

### ◇チェーンステッチ、カバーヘムのぬい方

(1) 布を押さえの下に入れ、押さえをさげます。
はずみ車を手でまわし、数針ぬいます。
低速でぬい始め、一定の速度でゆっくりとぬいます。
ぬい始めとぬい終わりに捨て布を使うときれいにぬえます。

3～4 cm四方の捨て布を針落ち位置まで入れぬってから、続けて布を入れてぬい始めます。

捨て布
布
捨て布

(2) ぬい終わりにも同じように捨て布を入れてぬうとぬい目が安定します。

捨て布と布の間の糸をはさみで切ります。

## ●ぬいの途中で糸切れした場合の糸のかけ方

ぬいの途中で上ルーパー糸が切れた場合は、はずみ車を手でまわし、下ルーパーから糸を外します。
上ルーパーに糸をかけ直し、はずみ車を手でまわして数針ぬいます。

ぬいの途中で下ルーパー糸が切れた場合は、針穴の上で針糸を切ります。
下ルーパーに糸をかけ直した後、針に糸をかけ直します。

# ●調節

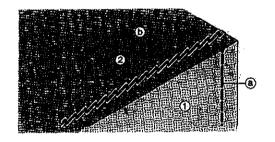
## ◇糸調子の調節

糸や布の種類によっては、糸調子の調節が必要な場合があります。

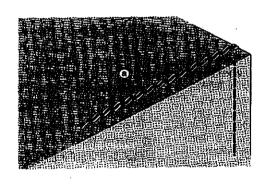
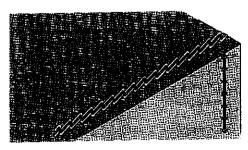
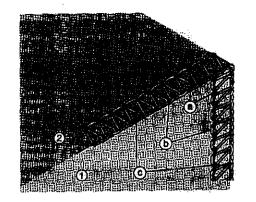
糸調子を調節する前に、糸が糸調子皿の間に正しく通っているか確認してください。
(糸調子解放レバー①を押しながら糸調子皿の上側の糸を上に引きます。)

糸調子ダイヤルは黄、青、赤、緑、茶に色分けしてあります。調節が必要な糸のダイヤルをまわして調節します。

試しぬいをしながら、１ケ所づつ糸調子を調節して

＊糸がゆるい時 .... 糸調子器の目盛りを大きくします。
＊糸が強い時 ........ 糸調子器の目盛りを小さくします。

## ◇チェーンステッチ

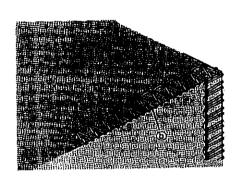
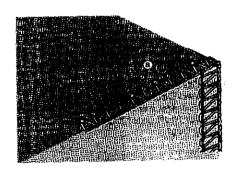
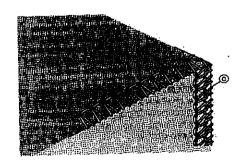
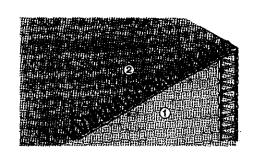
### 正しい糸調子

針糸のぬい目は、布の表側①では直線状になります。布の裏側②ではルーパー糸ⓑの間にわずかに出ます。

針糸ⓐがゆるく、布の裏側に出過ぎる場合は、糸調子ダイヤル（黄）をまわして針糸の張力を強くします。

針糸張力が強過ぎてぬい縮みする場合は、糸調子ダイヤル（黄）をまわして針糸の張力を弱くします。
うす物をぬう場合は、ぬい目のあらさを小さくします。
(ぬい目のあらさは２.５より小さくしないでください。)

## ◇３本糸ふちかがり

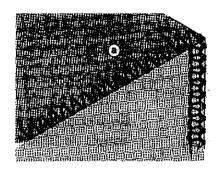
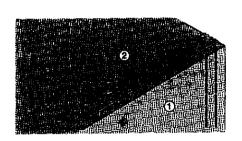
### 正しい糸調子

ⓐ 針糸のぬい目は、布の表側①では直線状になります。布の裏側②ではルーパー糸の間にわずかに出ます。

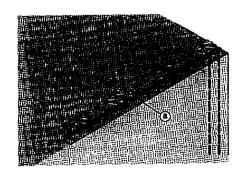
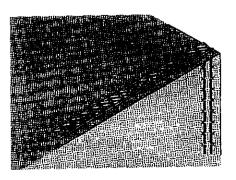
ⓑ 上ルーパー糸は布の表側では平になり、布端で下ルーパー糸とからみ合います。

ⓒ 下ルーパー糸は布の裏側では平になり、布端で上ルーパー糸とからみ合います。

上ルーパー糸ⓑが布の裏側に引き込まれる場合は、糸調子ダイヤル（赤）をまわして上ルーパー糸の張力を強くするか、糸調子ダイヤル（緑）をまわして、下ルーパー糸の張力を弱くします。

針糸ⓐがゆるく、布の裏側に出過ぎる場合は、糸調子ダイヤル（青）をまわして針糸の張力を強くするか、糸調子ダイヤル（赤、もしくは緑）をまわして、上下ルーパー糸の張力を弱くします。

下ルーパー糸ⓒがゆるく、布の表側に引き上げられる場合は、糸調子ダイヤル（緑）をまわして下ルーパー糸の張力を強くするか、糸調子ダイヤル（赤）をまわして上ルーパー糸の張力を弱くします。

## ◇２本糸ふちかがり

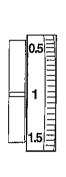
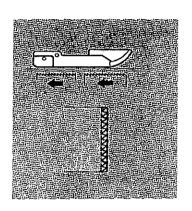
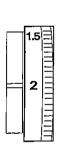
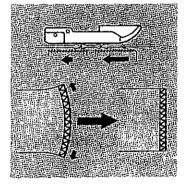
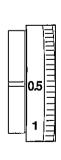
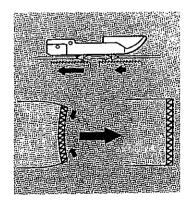
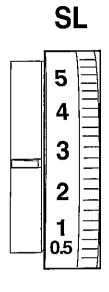
### 正しい糸調子

針糸のぬい目は布の表側①では直線状に、布の裏側②では、Ｖ字状になります。
ルーパー糸は布の表側①では平らになり、布端で針糸とからみ合います。

針糸ⓐが布の表側に引き込まれる場合は、糸調子ダイヤル（黄）をまわして針糸張力を強くするか、ルーパー糸張力（緑）を弱くします。

## ◇カバーヘム（広幅）

### 正しい糸調子

布の表側①は、針糸のぬい目が２本の平行な直線状になります。
布の裏側②は、ルーパー糸がややゆるめになります。
ぬい目のあらさは２．５より小さくしないでください。
中厚物の場合は、ぬい目のあらさを大きくします。

針糸の張力が弱いと布の裏側にループができます。
針糸調子ダイヤル（赤）をまわして、張力を強くします。

針糸の張力が強いとぬい縮みします。
針糸調子ダイヤル（赤）をまわして、張力を弱くします。

## ◇差動送り

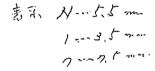
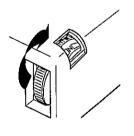
送り歯が前後に分かれていて、前と後ろの送り歯で布の送り量をかえることを「差動送り」と言います。
ニット地など伸びやすい生地や、ぬい縮みしやすい柔らかい生地をぬう場合は、差動送りを調節するときれいにぬえます。

通常の場合は、差動ダイヤルを標準位置「1」に合わせます。

伸びやすい生地の場合は、差動ダイヤルを大きな数字に合わせます。

ぬい縮みしやすい生地の場合は、差動ダイヤルを小さな数字に合わせます。

## ◇ぬい目のあらさ

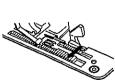
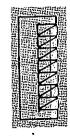
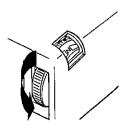
布の厚さや種類に応じて、ぬい目のあらさを0．5から5の範囲で調節します。
うすい布、柔らかい布の場合はぬい目のあらさを小さくします。
厚い布、硬い布の場合はぬい目のあらさを大きくします。

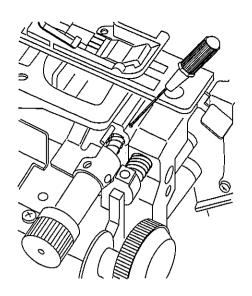
※ チェーンステッチ、カバーヘムの場合は必ずぬい目のあらさダイヤルを2．5以上に合わせます。

※ 中薄物のカバーヘムの場合、ぬい目のあらさは3．0が標準ですが、厚物や段部をぬう場合は、ぬい目のあらさを3．5から4の範囲に合わせます。

## ◇切り幅

ルーピングや布端がカールしないように、布の厚さ、枚数に応じて切り幅を調節します。

## ◇ルーピング

ぬい目の幅より切り幅が小さいと、ルーピングを生じます。
切り幅調節ダイヤルを回し、大きな数字に合わせます。

## ◇布のふちのカール

ぬい目の幅より切り幅が大きいと、布のふちが巻き込まれて、カールします。
切り幅調節ダイヤルを回し、小さな数字に合わせます。

## ◇厚物のふちかがり

厚物のふちをかがる時は、上メスを固定します。

1. はずみ車をまわして針を下げます。

2. 布板を開けます。

3. 付属の六角ドライバーでねじを締め、上メスを固定します。

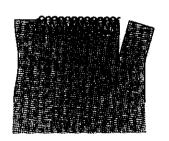
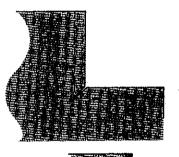
4. 布板を閉めます。

※ 厚物のふちかがりが終わったら、必ずねじを緩めておきます。

※ 上メスを固定すると切り幅の調節はできません。

## ●ぬい方

### ◇外側の角ぬい

角の手前までぬい、ミシンを止めます。はずみ車をまわして針を上げます。押さえを上げ、糸調子解放レバーを押しながら、かがり爪から糸を外します。布の向きをかえ、針の位置を前のぬい目にあわせます。押さえを下げ、針糸を引いてたるみをなくし、ぬい始めます。

布のふちを切りながらふちをかがる場合は、あらかじめ、ぬい目に沿って布の角に3 cmほど切り込みを入れておきます。

### ◇内側の角ぬい

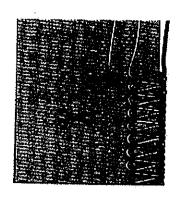
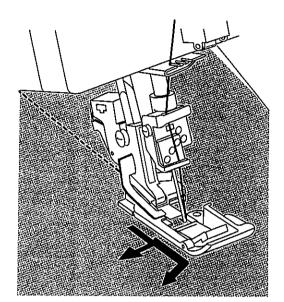
1. 角の内側に0．4 cmほど切り込みを入れます。

2. 布の手前を引張り、布のふちが一直線になるようにします。布のふちを切りながらぬいます。

3. 布の手前を放すと、布はもとの形にもどります。

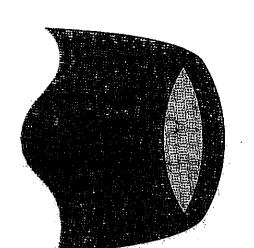
### ◇カーブのぬい方

カーブの内側をぬう場合は、布のふちが一直線になるよう、Ⓐ部を右側に、Ⓑ部を左側に寄せながらぬいます。

カーブの外側をぬう場合は、布のふちが一直線になるよう、Ⓐ部を左側に、Ⓑ部を右側に寄せながらぬいます。

## ◇ぬい目のほどき方

針糸を数目毎にはさみで切ります。
ルーパー糸をそっと引っ張るとぬい目がほどけます。

## ◇チェーンステッチのぬい方向のかえ方

角の手前までぬい、はずみ車を手前にまわし針穴が布から出るまで針を上げます。この時針先は布に刺さったままにします。
押さえを上げ、布をまわしてぬい方向をかえます。
押さえを下げ、ぬい始めます。

## ◇カバーヘム

一般的に裾や袖口などはふちの始末をした後でぬい合わせますが、カバーヘムの筒ぬいでもできます。

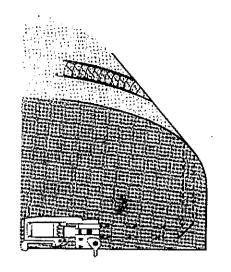
## ◇カバーヘムの筒ぬい

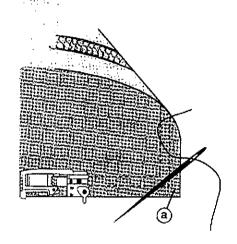
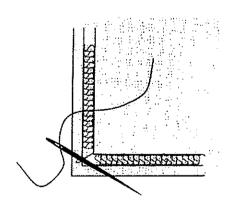
### ぬい方１

ふちを折ってアイロンをかけます。補助テーブルの目盛りを目安にして押さえの下に布を入れます。
ふちに沿ってぬい、ぬい始めの位置まで来たら更に1.3cmほど重ねぬいしてミシンを止めます。
針糸を少したるませ、糸を切り布を外します。
糸を布の裏に引き出して結び、結び目にほつれ止め（市販品）を塗ります。

### ぬい方２

ふちに沿ってぬい、ぬい始めの位置まで来たら更に1.3cmほど重ねぬいしてミシンを止めます。
はずみ車を向こう側へ回して針を上げ、針板の爪から糸を外します。
補助糸調子を「０」にし、押さえをあげ、糸調子解放レバーを押しながら布を左側に引き出し、糸を切ります。
糸を布の裏に引き出して結び、結び目にほつれ止め（市販品）を塗ります。
補助糸調子を「N」に戻しておきます。

段部をぬうときは目とびを防ぐため、押さえ圧を「１」にします。
段部をぬい終わったら押さえ圧を「５」に戻しておきます。

## ◇ぬい方向のかえ方

角の手前までぬい、ミシンを止め針を上げます。
はずみ車を手前にまわし、針を布に刺します。
はずみ車をゆっくりと向こう側へまわし、針を上げます。
針糸がルーパーから外れますので、押さえを上げ布の方向を９０度回転します。
はずみ車を手前にまわし、針を布に刺します。
押さえを下げ、ぬい始めます。

斜めになっている外側の針糸を、手ぬい針で布の角ⓐに引き寄せ、ぬい付けます。

布を裏返し、ルーパー糸がほつれないよう、手ぬい針でぬい付けます。

# ●ミシンのお手入れ

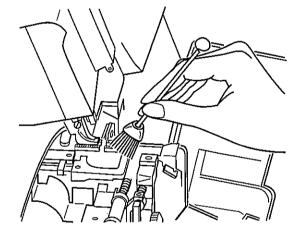
ミシンを末永くお使いいただくため、定期的にお手入れと注油をしてください。

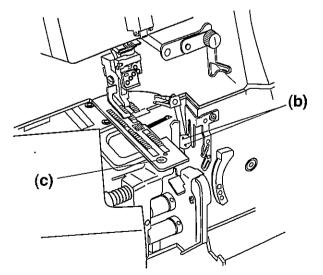
## ◇掃除と注油

1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜きます。
   はずみ車を手でまわし針をあげ、押さえホルダー後ろのレバーを押し、押さえを外します。
   針板解放レバー(a)を下げ、針板を外します。
   上メスを解除します。

(a)

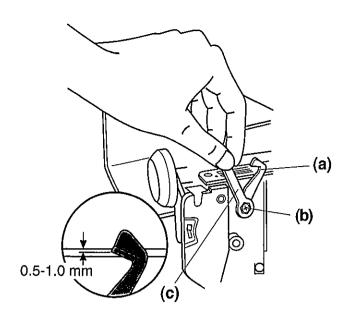
**注意**

ミシンのお手入れのときには、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
説明されている箇所以外は分解しないでください。
**けが、感電、故障の原因**になります。

ブラシでルーパー付近の糸くず、布くずを取り除きます。

上ルーパーの赤い三角部2ケ所(b)に注油します。
注油は使用8時間毎に行います。

針板の穴をピン(c)に合わせ、針板を上から押して取り付けます。

押さえを押さえホルダーの下に置き、押さえ上げを向こう側に上げて押さえを取り付けます。

布板、ルーパーカバーを閉めます。

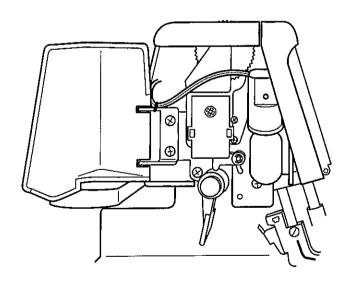
## ◇上メスの交換

**⚠ 注意**

上メスを交換する時は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
**けが、故障の原因**になります。

メスの切れ味が悪くなった場合は上メスを交換します。(上メスはお買い上げの販売店で購入して下さい。)

1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜きます。
2. ルーパーカバーと布板を開きます。
3. 上メスを上位置で固定します（59ページ参照）、付属のスパナ(c)で六角ボルト(b)をゆるめ上メス(a)を外します。
4. はずみ車を手でまわし、上メス位置を一番下に下げます。新しい上メスを取り付け、六角ボルトを軽くしめます。上メスの先端を下メス上面より0.5～1.0mm下がった位置にして六角ボルトをしっかりと締めます。上メスの固定を解除します。

## ◇ミシンランプの交換

**⚠ 注意**

ミシンランプを交換する時は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。**けが、感電、故障の原因**になります。
また、ミシンランプが冷えてからランプを交換して下さい。

1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜きます。
2. 押さえ上げを下げ、ランプカバーを開きます。
3. ランプを左にまわして外します。
4. 新しいランプをソケットに入れ、右にまわして取り付けます。ランプカバーを閉めます。

＊このミシンの電球は、100V－15Wを使用して下さい。

# ●調子がよくないときの直し方

### ぬい目の調子がよくなかったり、目がとんだりする。

糸の掛け方がまちがっている。............16, 18-40
糸調子が強すぎるか弱すぎる。............54
針がまがっていたり、針先がつぶれている。............15
針のつけ方がまちがっている。............11, 15
布地を無理に引っ張った。............51
押さえがあっていない。............14, 18-40
押さえや針板が正しく取り付けられていない。............14
切り幅が正しく調節されていない。............11
糸かけスタンドが正しく取り付けられていない。............6
ぬいが終わった時に押さえをあげている。............51

### 糸が切れる。

糸の掛け方がまちがっている。............16, 18-40
糸調子が強すぎるか弱すぎる。............54
糸がからみついている。............16-17
糸を掛け直す時、下ルーパーに糸がかかっている。............53
押さえや針板が正しく取り付けられていない。............14
糸かけスタンドが正しく取り付けられていない。............6
糸こま受けが取り付けられていない。............6

### チェーンステッチ糸やカバーヘムの糸が切れる。

糸調子が強すぎる。............54
ぬい目が細かすぎる。（SLは2.5以上に設定する）............10
針がまがっていたり、針先がつぶれている。............15
針のつけ方がまちがっている。............11
糸を掛け直す時、下ルーパーに糸がかかっている。............53

### ぬい目がしわになる。

糸調子が強すぎる。............54
ぬい目があらすぎる。............10
布が厚すぎる............15
押さえ圧が正しく調節されてない。............50, 62
押さえや針板が正しく取り付けられていない。............14
送りダイヤルが正しく調節されてない。............10

### 針が折れる。

布地を無理に引っ張った。............51
針がまがっていたり、針先がつぶれている。............15
針のつけ方がまちがっている。............11
針のサイズがあっていない。............15

### 糸がからまる。

糸の掛け方がまちがっている。............16, 18-40
押さえや針板が正しく取り付けられていない。............14
ぬい目が細かすぎる。............10
糸調子が強すぎるか弱すぎる。............54
糸が糸調子皿に入っていない。............17, 40, 54
糸がからまっている。............16-17
押さえ圧が低すぎる。............50
糸こま受けが取り付けられていない。............6
上メスが解除されており、布端が右に寄り過ぎている。............12

### ミシンが遅すぎる、もしくはまわらない。

電源スイッチがＯＦＦになっている。............7
ミシン内を掃除、もしくは注油していない、............64

### 音がたかい。

ミシン内を掃除、もしくは注油していない............64
針がまがっていたり、針先がつぶれている。............15
上メスの切れ味が悪くなっている。............65

### 布がうまく切れない。

上メスが正しくもどっていない。............12
上メスが正しく取り付けられていない。............12
切り幅が正しく調節されていない。............11
ミシン内を掃除していない。............64
厚い布をぬう時、上メスをロックしていない。............59
普通の布をぬう時、上メスをロックしている。............59
上メスの切れ味が悪くなっている。............65
かがり爪位置がまちがっている。............14

### 選んだセットのようにぬえない。

ぬいセットの番号がまちがっている。............9
糸の掛け方がまちがっている。............16, 18-40
切り幅が正しく調節されていない。............11
かがり爪位置がまちがっている。............14

### 修理サービスのご案内

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
●無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

### 修理用部品の保有期間

●当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

●使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
1）保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
2）浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
3）お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
4）お買い上げ店、または当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5）職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
●長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
●有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## お客様の相談窓口

蛇の目ミシン工業株式会社
〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1
電話 03（3277）2200
受付 月曜日～金曜日（祝日は除く）
9時～12時
13時～17時

| 仕様 | |
|---|---|
| 使用電圧 | 100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 110W（ランプ100V 15W） |
| 外形寸法 | 幅38.0 cm ×奥行26.5 cm ×高さ30.5 cm |
| 重量 | 8.6 Kg（本体） |
| 使用針 | 家庭用 EL × 705 #14 |
| 最高ぬい速度 | 毎分1,300針 |

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。